



会報

社団法人
兵庫県電業協会



2010.1.No.29

目次

1	あいさつ	
(1)	会長挨拶	1
(2)	兵庫県知事挨拶	2
(3)	神戸市長挨拶	3
(4)	兵庫県まちづくり担当部長挨拶	4
(5)	原顧問(兵庫県議会議員)挨拶	5
(6)	高田顧問(元神戸市議会議員)挨拶	6
2	特集(新エネルギー事情)	
(1)	新エネルギーの意義と兵庫県のグリーンエネルギー推進策	7
(2)	新エネルギー活用の事例	11
3	施設紹介	
(1)	兵庫県姫路警察署	15
(2)	神戸市立海外移住と文化の交流センター	21
4	技術報告(「LED照明」その光源のスペック進化と普及に向けた課題)	28
5	会議	
(1)	通常総会・懇親会	32
(2)	理事会・委員会	34
6	事業報告1(総務委員会関係)	
(1)	行政懇談会	37
(2)	地区懇談会	45
(3)	行政機関への協会活動PR	46
(4)	永年勤続優良従業員表彰	48
7	事業報告2(技術・安全委員会関係)	
(1)	技術講習会	49
(2)	施設見学会	51
(3)	1級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会	52
(4)	安全衛生推進大会	54
(5)	災害対策等緊急体制	57
(6)	こども110番の車パトロール事業	58
(7)	暴力団追放対策講習会	59
8	事業報告3(経営委員会関係)	
(1)	インターンシップの受け入れ	60
(2)	高校生ものづくりコンテスト 審査員の派遣	63
(3)	経営講演会&県工事検査結果講習会	64
(4)	エコアクション21関係企業グリーン化プログラム	65
(5)	県管理道路河川等公共施設愛護活動	67
(6)	コウノトリ翔る 但馬まるごと感動市への参加	68
9	部会・同好会活動	
(1)	青年部会のページ	69
(2)	新生のじぎく会だより	73
10	社団法人日本電設工業協会の動き	74
11	兵庫県の入札・契約制度	75
12	協会の動き	
(1)	受賞おめでとうございます	78
(2)	会務日誌	79
(3)	会員動向	83
13	編集後記	90

表紙写真

「南あわじ市阿那賀の風力発電設備」

撮 影 合 田 貞 夫 (東洋電気工事株式会社)

森林を伐採し工事用の道を切り開き開設された日本最大級の高性能な風力発電機。130メートルの高さで15基がそびえ、地中ケーブルにより関西電力(株)の送電線に接続する。基礎・搬入・組立て・据付は、随分困難であったと想像出来ます。
エネルギー源の多様化に加え、温暖化対策や経済発展にも大きく貢献出来るものと期待できます。

新年ご挨拶

社団法人 兵庫県電業協会

会 長 藤 井 宏 明



明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、会員並びに兵庫県を始め関係機関の皆様には、平素より当協会の事業運営に格別のご支援やご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

2008年9月の米国大手証券会社リーマンブラザーズの破綻から始まった全世界の金融市場の混乱と危機から端を発し、大不景気圏に入り、我が国においては、株価下落、円高が進み、雇用情勢も日を追う毎に悪化している現状にあります。昨年末のTVニュースで私達が愛して止まない牛丼が1杯280円に値下げになったとの報道を眼にしました。不景気の上にデフレの情報までも出ており、最悪のシナリオで進んでいるように思われます。

政権交代による「コンクリートから人へ」への提言は、公共事業の大幅な縮減が予測され、民間の設備投資の受注の低迷と相俟って、我々電気設備業者の先行きは不透明で、誠に憂慮すべき状況にあります。しかしながら考えてみますと、国民が選んだ議員が決定をしているのです……。願わくば、内需の拡大を柱とした景気対策への十分な財政出動、国民生活と経済活動の基盤である社会整備の着実な推進、更には地方の経済・産業の活性化に十分な配慮を期待するところです。

こうした状況の中、当協会としては業界の抱える様々な課題解決と公益法人の使命である社会貢献に例年にも増して取り組んでいく覚悟を新たにしています。

新政権が打ち出した脱地球温暖化戦略の推進では、CO₂の90年比25%削減という産業界にとって極めて厳しい目標の達成が国際公約とされていますが、省エネルギー対策の強化や、再生可能エネルギーの活用は今後確実に進めなければならない重要課題でもあり、当協会としてもビジネスチャンスとして受け止め、太陽光発電を始めとするこれらの新技術や情報の提供を充実しなければなりません。

また、経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、会員の技術力のアップを図るための諸施策に加えて、若者にとって魅力ある職場作りへのチャレンジも必要です。

幸いにも、3年前の県外大手会員の大半が退会するという非常事態を乗り越え、全会員の結束と全面協力により、昨年は21社が入会するなど明るい要素も出てきており、また、当時3年を目途に策定した協会再生計画のメニューの大部分はクリアできたのではないかと感謝申し上げる次第であります。

最悪最低の経済環境下ですが、協会の総力を挙げて業界の発展と地域社会への貢献のため取り組む所存であり、昨年も申し上げましたが、会員各位はこれまで以上に「頭使、速行、努力」が必要と認識し、この厳しい環境を切り開いていただきたいと念じています。会員各位の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が当協会にとりまして飛躍の年となりますとともに、皆様方のご健勝、ご繁栄を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

元気で安全安心な 兵庫をめざして

兵庫県知事

井戸敏三



新年あけましておめでとうございます。

21世紀も10年目、今年は阪神・淡路大震災から15年の節目を迎えます。

これを期に、改めて震災の経験と教訓を伝承する「伝える」「備える」取組とともに、創造的復興を成し遂げてきた兵庫の力を礎に、21世紀の成熟社会を先導する地域づくりを進めましょう。

震災直後に540万人まで減少した人口も、昨年11月、560万人を超えました。今後予測されている本格的な人口減少社会が到来しても、地域社会が活力を失わないよう、兵庫の多様性を生かし、元気な兵庫づくりに取り組まなければなりません。

一つは、安全安心の確保です。台風9号の教訓を踏まえ、山の管理や谷筋の砂防対策などを徹底します。また、新型インフルエンザ対策、緊急経済雇用対策に万全を期します。

二つは、地域活力の増進です。ふるさと自立計画への支援、商店街の活性化、就農促進など、地域の努力を応援します。また、仕事と生活が調和する社会、女性や高齢者の元気を生かせる社会の実現をめざします。

三つは、新時代の先導です。少子化、高齢化、地域偏在とともに進む人口減少などの社会の変化に対応するとともに、市町、県、広域の各段階で、自主自立をめざした改革を進めます。

変化の激しい時代だからこそ、柔軟な発想と行動力で、ともに元気で安全安心な兵庫をつくりましょう。

厳しさも 課題も乗り越え 行く先は 新たな地域の夢結ぶ途

2010年 市長新年あいさつ

神戸市長

矢田 立郎



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

近年、少子・超高齢化の進行や世界同時不況など、市政を取り巻く環境が厳しい状況になっていく中、これからは「人間を大切にする市政」でなければならないと思っています。

人を大切にすることは、「命とくらし」を守り抜くことであり、これに重点を置いた取り組みが特に重要であると考えています。

今後、想定される東南海・南海地震に備えるためにも学校や住宅の耐震化を進めていきます。また新型インフルエンザなどの感染症に迅速に対応する健康危機管理体制の強化にも取り組んでいきます。医療面においては、3次救急を担う新中央市民病院の建設や小児救急医療拠点の整備など医療の充実を図ります。雇用面では、デザイン都市や医療産業都市といった新しい切り口でのまちづくりなどによる雇用の創出と確保を行うとともに、男女共同参画の推進と、仕事と生活が両立できる環境づくりのためにも安心して子供を預ける場を増やします。また、地域での高齢者の見守り機能強化を強化する介護や専門的ケア体制の整備など、市民の命とくらしを守る施策を充実します。3期目の施政方針は、「協働と参画」と「行財政改革」を基本姿勢とし、5つの分野の重点目標に沿った140の施策を掲げました。これらを確実に実行していくとともに、時代や変化にも機敏に対応しながら「人間を大切にする神戸市政」を進めていきます。

また、昨年末には「第15回国連気候変動枠組み条約締約国会議（C O P 15）」がコペンハーゲンで開催され、温室効果ガスの削減目標などについて話し合われました。神戸市においても、温室効果ガスの削減を進め、カーボンゼロの都市を目指します。公共施設においては、「エコロジー建築」の推進、太陽光発電・風力発電やごみ発電・バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの利用促進を行い、低炭素社会の実現に向けて総合的に取り組みます。

具体的には、温室効果ガス削減について、政府目標である「2020年までに90年比で25%削減」を達成するためには、すべての建築物が2020年時点で現行省エネ基準を満たすことが必要であるとの試算もあります。今後、中期目標達成のためには、新築ビルの省エネ性能向上や、既築ビルの省エネ改修により、さらなるCO₂削減が求められております。協会の皆様の知力と技術力によるご協力を得ながら、公共施設においても積極的に省エネ化に取り組んでいきたいと思っております。

阪神・淡路大震災から15年を経た神戸のさらなる飛躍のため、これからのまちづくりの方向を市民の皆さまとともに描き、神戸の持つ個性を発揮しながら、人材が集積し、人材が育つ新しい時代の先進都市を目指し、ともに力を合わせ、安心して元気な活力ある、誇れるまち神戸を築きあげていきましょう。

平成22年 新年ご挨拶

兵庫県まちづくり担当部長

本 井 敏 雄



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、兵庫県政、とりわけまちづくり行政の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、8月に発生した台風第9号災害に対し、住宅再建の応急的な対策として、県営住宅や県職員住宅・教職員住宅への一時入居に加え、応急仮設住宅の提供を行いました。また、住宅の建設・購入、補修に係る融資に対して5年間、利子補給するとともに、被災を受けた住宅の既存の住宅ローンと住宅再建のための新たな住宅ローンの二重の負担となる場合には、既存の住宅ローンに対しても利子補給を実施しました。さらに、高齢者の住宅再建費用に対する100万円の助成、住宅再建のため一時的に民間賃貸住宅に入居する場合の家賃への助成など、被災者の住宅再建に向け積極的な支援に取り組みしました。

本年は、淡路花博開催から10年目の節目を迎え、3月20日から5月30日までの間、淡路夢舞台等をメイン会場に淡路花博2010「花みどりフェア」を開催します。「人と自然の新たなコラボレーション」をテーマに、これまでの緑化再生、環境再生の検証と今後の取組の方向性を探るとともに、新たな花緑文化を配信し、淡路の地域振興や発展に寄与するイベントとなることを期待しています。

また、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進するため、5月23日に第21回全国「みどりの愛護」のつどいを、本年度に全面開園する兵庫県立三木総合防災公園で開催します。

さらには、住民団体などが実施する緑化活動を支援することにより、都市部の防災性の向上や環境の改善を図る県民まちなみ緑化事業が平成22年度、最終年度にあたるため、事業効果の検証を進めてまいります。

今後とも、兵庫県が直面する課題をしっかりと捉え、県民本位、生活重視、現場主義を県政推進の基本として「元気で安全安心な兵庫」をめざしてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって充実した素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

兵庫県議会議員

原

亮

介

(当協会顧問)



平成22年の新年のご挨拶申し上げます。

御健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はまさに激動の年でありました。経済的には「百年に一度」とも言われたアメリカ発の世界同時不況の克服に追われた年でありました。政治的には永年の課題でもあった「政権交代」が実現いたしました。が、政権移行の混乱に加えて円高やデフレ・スパイラルの危惧などの諸課題の「先送り」ばかりであります。

新年・平成22年の干支は「庚（かのえ）・寅（とら）」であります。

「庚（かのえ）」は、汚れを洗い清め償う意味であり、革命による断絶ではなく、更新による進化を意味します。「寅（とら）」は、人が向かい合う象形文字であり「たすけあう」意味であり、志を同じくする者が助け合う事によって進歩する意味であります。「さんずい偏」をつければ「演」・（のびる）になるのであります。

その意味で激動・激変の年の平成22年が、政治的にも経済的にも人々が「たすけあい」断絶ではなく更新進化するという干支「庚・寅」通りの年となる事を祈念して、新年のご挨拶といたします。

新年ごあいさつ

元神戸市議会議員

高 田

巖

(当協会顧問)



あけまして、おめでとうございます。

ご家族や従業員のみなさんともども「今年こそは」の期待を込めて、新年をお迎えのことと存じます。

昨年も公私にわたり大変お世話になりました。今年も変りませぬご指導、ご交誼をお願いいたします。

さて、昨年も「今年こそは」と決意し、努力をされた一年でありましたが、なかなか景気は回復せず、厳しい一年でありました。アメリカのオバマ大統領は「チェンジ」を、日本の鳩山総理は「変革」を訴え政権に就きました。それぞれの国民は「どう」チェンジ、「どう」変革されるのか、大きな期待が寄せられています。そしてそのキーワードは「国民の生活第一」でなければなりません。そのためには国民一人一人の可処分所得を増大せねばなりません。企業主のみなさんは従業員のみなさんにも、十分な所得を配分しなければなりません。そのため仕事量の確保が肝要であります。また、適正な価格での受注も必要であります。新しい安全、環境、エコ等の分野への参入も進めねばなりません。協会においても技術練磨の研修なども必要でしょう。関係箇所への要請事項などもありましょう。協会としても課題は山積みしていると思います。厳しい時だからこそ一致協力して突破しようではありませんか。格段のご活躍をお祈りいたします。

協会と会員企業さまの発展、ご家族、従業員のみなさんを含む、ご尊家の万福をお祈りし、新年のごあいさつとします。

新エネルギーの意義と 兵庫県のグリーンエネルギー推進策

兵庫県農政環境部環境管理局大気課

1 新エネルギー導入の意義

「新エネルギー」とは、石油や石炭、原子力など、旧来からあるエネルギーに対して、太陽光発電や風力発電など、文字通り「新しく」登場しつつある資源エネルギーを言います。

政策的には、平成9年（1997年）施行の「新エネ

ルギー利用等の促進に関する特別措置法（新エネ法）」において、「技術的に実用化段階に達しつつあるが、経済性の面から普及が十分でないもので、石油に代わるエネルギーの導入を図るために特に必要なもの」と定義され、現在は下図1の10種類（白抜き部分）が「新エネルギー利用等」に指定されています。

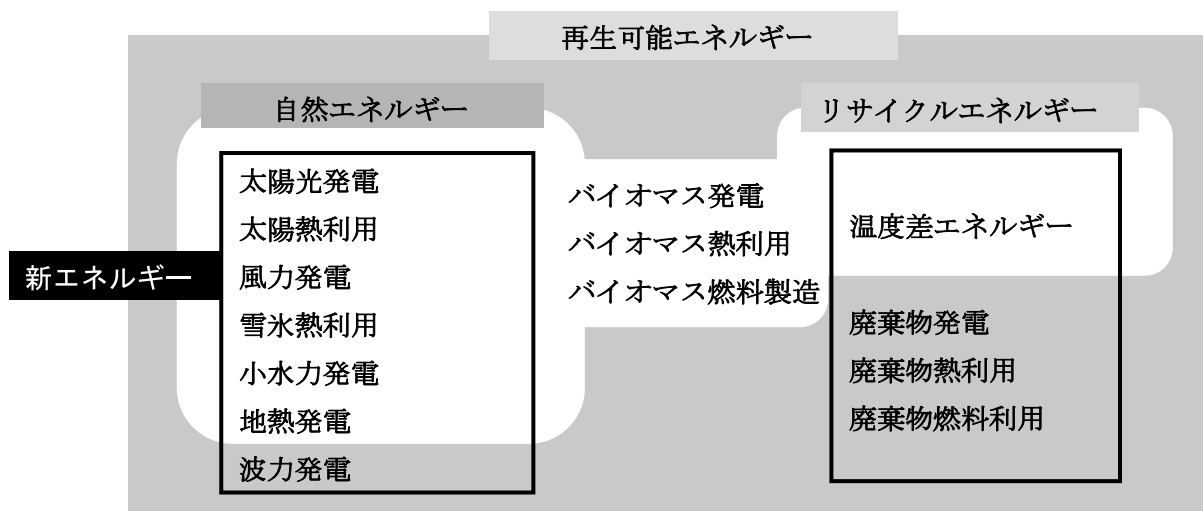


図1 新エネルギーの種類

新エネルギーの導入のメリットとしては、次の3つが挙げられます。

① エネルギー供給の安定化

太陽光発電などの自然エネルギーを中心とする新エネルギーは、どこにでも存在し、枯渇する心配のない国産エネルギーなので、エネルギー自給率を高め、エネルギー供給の安定化に寄与します。

② 地球温暖化対策

温室効果ガスの削減が世界的な緊急課題となるなか、新エネルギーは、温室効果ガスをほとんど排出しないクリーンなエネルギーとして脚光を浴びています。

③ 新産業の育成と雇用の創出

新エネルギーは、開発段階から、実用化、普及段

階へと移行しつつある新しい技術であり、新産業と雇用の創出が期待されます。

2 グリーンエネルギー10倍増作戦

兵庫県では、エネルギー効率の高い家電製品等の使用、製造工程におけるエネルギー使用の合理化等の省エネルギー対策と、太陽光発電、バイオマス発電の導入等の新エネルギー対策を併せた総称を、「グリーンエネルギー」と呼び、平成14年7月に、グリー

ンエネルギーの普及拡大を目指して「グリーンエネルギー推進プログラム」を策定しました。また、平成17年度には、「平成22年度におけるグリーンエネルギーの導入量を平成14年度に比べて10倍増とする」具体的目標を掲げました。この目標は、「グリーンエネルギー10倍増作戦」として、県の温暖化対策の基本である「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」（平成18年改訂）の重点施策の1つに位置づけられています。

区 分	H14年度実績	H20年度実績	目標（H22）
太陽光発電	24,000	84,239	190,000
うち住宅用	6,866基	20,890基	40,000基
風力発電	5,750 (≒6,000)	43,457	107,750 (≒110,000)
合 計	30,000	127,696	300,000

(単位：kW)

表1 グリーンエネルギー10倍増作戦の進捗状況と目標値

3 太陽光発電システムの普及促進

兵庫県では、平成17年度に国の補助金制度が終了したため、平成18年度から、自ら居住する住宅に金融機関等から融資を受けて住宅用太陽光発電システムを設置する県民を対象に補助を行ってきました。平成21年1月に国の補助金制度が復活したのを受けて、県の補助制度は終了しましたが、兵庫県における太陽光発電設備の平成6年度～20年度の設置件数は全国7位（出力では全国6位）と都道府県別では上位を維持しています。平成20年度末の設置状況は、20,890件（図2参照）、73,578kWとなっています。

また、平成21年7月30日には、JR神戸駅前の神戸クリスタルタワーに「太陽光発電相談指導セン

ター」を開設しました。太陽光発電の普及が進まない要因の1つに、関連する情報が散在し、正確な情報を一元的に入手できないことが挙げられています。相談指導センターでは、「太陽光発電システムとはどんなものか」に始まり、「自宅の屋根につけられるのか」「補助金の申請方法を知りたい」など、個々のケースに応じた内容まで、太陽光発電の導入に関心を持つ県民の皆様のさまざまな相談に、専任の相談員がきめ細やかに対応します。また、同センターでは、技術的な専門知識を持つコンサルタントの自宅等への派遣や、家庭の「どこから」「どのくらい」CO₂量が排出されているのかを診断し、削減に向けた対策の提案を行う「うちエコ診断」も実施しています。同センターは、国の補助制度の申請業

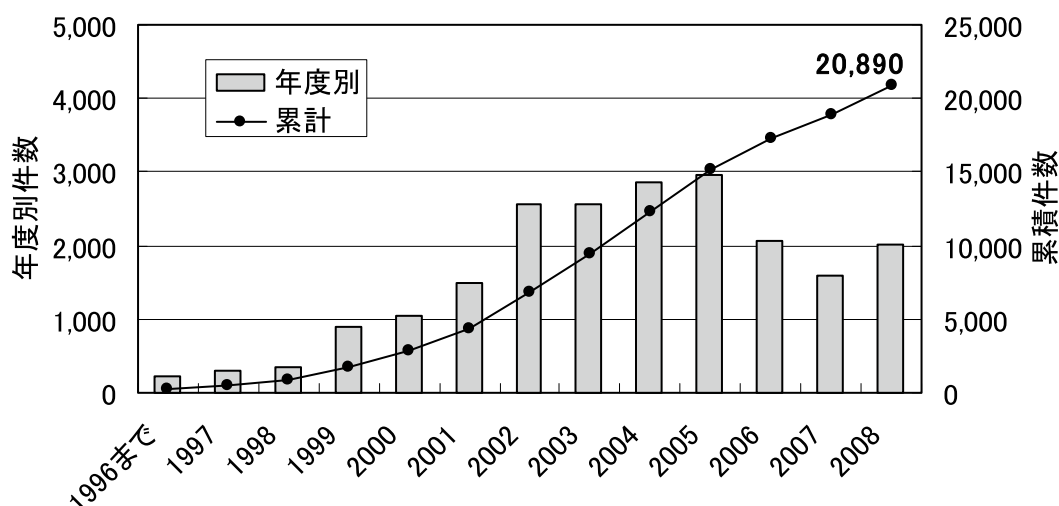


図2 兵庫県内の住宅用太陽光発電の設置件数の推移
(新エネルギー導入促進協議会資料より作成)

務も行っており、啓発パンフレットや電話相談を通じて、制度の周知を図っています。

また、県独自の補助制度として、国の補助制度の対象とならない10kW未満の太陽光発電システムを導入しようとする事業者等を対象に、ほかの省エネ設備と複合的に導入することを条件として、1kWあたり3.5万円の設置補助を行います。

4 風力発電の普及促進

風力発電の普及を促進するため、兵庫県では、県内のどの場所が風力発電に適しているかを示す風況マップをインターネット上に公開し、発電事業者等へ広く情報提供しています (http://www.kankyo.pref.hyogo.jp/JPN/apr/topics/tikyuondanka/16_index.htm)。この風況マップは、気象庁が提供する20km単位の広領域の気象データをもとに、地形や気温、水蒸気等様々な要素を反映させた局地気象数値モデル (LOCALS) を用い、西暦2000年の1年間の地上30mでの年平均風速を、1km単位で再現計算したものです。

5 ひょうごグリーンエネルギー基金を活用した県民発電所の建設

ひょうごグリーンエネルギー基金は、グリーンエネルギーの普及に要する費用を県民・事業者の総参加で負担しようという趣旨のもと、平成14年に財団法人ひょうご環境創造協会内に設立されました。同基金は、県民、事業者による寄付金及び後述する「CO₂削減相殺制度 (ひょうごカーボンオフセット)」で集まった募金等を原資として、県内各地に「県民発電所」といわれる太陽光発電施設及び小型風力発電施設を設置しています。平成20年度までに、12カ所の太陽光発電施設、4カ所の小型風力発電施設が同基金により設置され、稼働しています (図2参照)。

「CO₂削減相殺制度 (ひょうごカーボンオフセット)」は、県内のイベント開催によって排出されるCO₂を他の場所での削減量で相殺 (オフセット) するものです。相殺するための費用を参加料に上乗せしたり、参加者から募金を集め、ひょうごグリーンエネルギー基金を通じて、太陽光発電などの県民発電所の設置等を行っています。

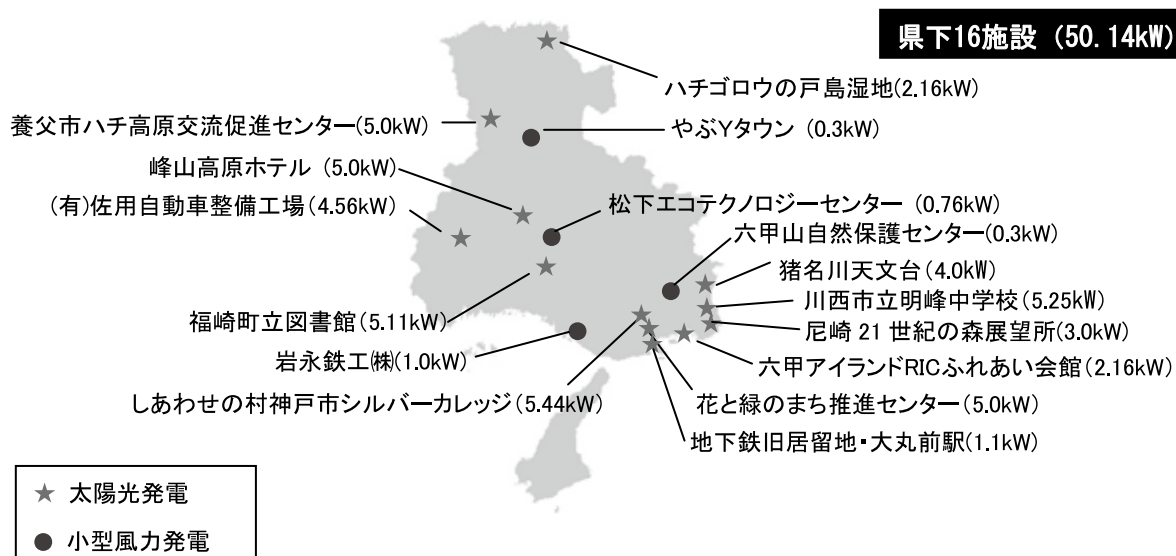


図2 ひょうごグリーンエネルギー基金設置の県民発電所

6 おわりに

昨年11月、国は、家庭などで発電した太陽光の余剰電力をこれまでの2倍の価格で買い取る制度をスタートさせました。今後、この制度は、すべての再生可能エネルギーの全量買取へと拡充する方向で検討されています。

再生可能エネルギーの普及は、国の温暖化対策の柱の1つであり、今後は、買取制度に加え、さまざまな推進策が打ち出されるものと思われます。

県も、国の施策を踏まえ、地域ごとに特色あるエネルギー資源を効率的に地産地消できるよう、地域全体でグリーンエネルギーの普及拡大を図っていきます。

新エネルギー活用の事例



くるくる市民発電所

現在県下各地で新エネルギーの活用や普及促進が進められていますが、その内4つの団体や企業における取組み事例をご紹介します。

1 NPO法人ワット神戸 (太陽光発電・小型風力発電の普及と省エネ推進)

新エネルギーの代表格として太陽光発電があげられます。太陽光発電は太陽電池内部に入射した光のエネルギーを吸収した電子が、あらかじめ設けられた電界に導かれ、電力として外部に出力されるものです。一般的な太陽電池は、 p n 接合型と呼ばれ、 p 型と n 型の半導体を接合したもので、代表的なものはシリコン系、化合物系と呼ばれています。簡単に言えば、光エネルギーを吸収した電子を半導体の性質により、一方向へ流したものです。また、安価な太陽電池として期待されている色素増感型太陽電池は、二酸化チタンに吸着された有機色素の電子を光によって励起する物で、構造が簡単で材料コスト

が安価なため、次世代の太陽光発電として注目されています。

ワット神戸は、母体の兵庫県中小企業家同友会が平成11年にドイツへ環境ビジネス視察団を派遣したことがきっかけとなりました。平成12年に神戸市民発電所研究会に参加することにより、本格的に太陽光発電事業を研究、開発する目的で平成13年に結成されました。その後、平成15年にNPO法人の認定を受け、普及啓発活動にも注力してきました。エネルギーを「生む」「省く」「正しく使う」の3つの「しょうエネルギー」を柱にプロジェクトを実施しています。太陽光発電は会の中心事業であり、最初に手がけたプロジェクトです。パネルをはじめ主要部品は大手メーカーのものを利用していますが、メンバーが出来る部分に関しては内部製作をしています。もちろん調査、設置工事については会員間の連携で実施し、ノウハウを蓄積しています。

「生む」事業については、そのほか小型風力発電、色素増感型太陽電池、携帯型太陽光発電装置などを



ハイブリット型風力発電

展開中です。
また、太陽光パネルを組み込んだハイブリッドタイプのマイクロ風力発電機、また、防犯灯、監視カメラ等との複合製品など派生製品の開発、販売も行っています。太陽光パ

ネルと雨水の貯水槽を組み合わせた自動灌水装置など、会員の本来事業を活用した新しい事業を「生む」活動を行っています。

「省く」事業では、会員のエネルギー管理士を中心とした、工場等のエネルギー診断を実施し、クレジット方式によるCO₂削減に寄与しています。「正しい」エネルギーの使用については、官学の共同を得て、地域の自治会、子供会を中心に啓発活動を行っています。国のCO₂削減計画により今後ますます設置が予定されている太陽光発電は、電気工事会社にとっては受注してもその殆どをメーカー発注しているのが現状です。ワット神戸の地道な活動は電気設備業界としても大いに注目すべき対象として、今後の活躍が期待されるところです。

2 神戸市建設局

(神戸バイオガス=下水処理から生じる循環エネルギー)

神戸市では、年間2億m³の下水を処理しており、処理過程で110万m³の汚泥が発生します。この汚泥は減量化や質の安定化を目的とした嫌気消化が行われ、このとき副産物として1000万m³の消化ガスが発生します。

消化ガスは、メタンと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガスで、従来から処理場内のボイラーや空調の燃料に使用されていましたが、都市ガスに比べ熱

量が低いことに加え、不純物である硫化水素やシロキサンが含まれており、設備の稼働率を下げるなどの欠点があり、発生量の3割は余剰ガスとして焼却されていました。

市では、この余剰分を有効活用するため、消化ガス中のメタンのみを抽出すれば、都市ガスと同等のエネルギーが得られると考えました。平成16年度から東灘処理場において(株)神鋼環境ソリューションと、平成17年度から(独)土木研究所とともに消化ガス精製について共同研究を行い、メタン98%の精製ガスが得られることが実証されました。

精製方法は、高圧水吸収法を採用し、二酸化炭素や硫化水素が水に溶解しやすい性質を利用したもので、9気圧に昇圧した消化ガスと水を接触させ、ガス中の不純物を除去し、メタンの濃度を高めるシステムです。

この結果、メタン濃度は60%から98%にアップし、CO₂は37%から0.6%に減少、有害物質も取り除かれます。熱量は都市ガス(13A)より1割ほど低くなりますが、天然ガス自動車の燃料として用いるには問題のないバイオ天然ガスが得られます。

こうしたカーボンニュートラルな環境に優しいエネルギーは「こうべバイオガス」と命名され、精製された5,000m³/日は、天然ガス自動車や場内で使用されています。

天然ガス自動車は、窒素酸化物やCO₂の排出量が少なく、現在、貨物運送車、バス、ごみ収集車など実用車として多くの分野で利用されていますが、東灘処理場内には1日2,000m³のガスを供給できるこうべバイオガスステーションを設置し、市バスなどに利用されています。



バイオガス供給ステーション



精製装置

さらに、㈱神鋼環境ソリューション及び大阪ガス(㈱)と連携し、バイオガスを熱量調整等の高度精製を行い、直接都市ガス導管に注入する実証事業に取り組んでおり、事業場や一般家庭への供給は平成22年度の早い時期にスタートする見込みです。

日本初のこうした取り組みにより、下水処理場で発生するバイオガスは余すことなく有効利用されることになり、低炭素社会、循環型社会の構築への貢献が大いに期待されるところです。



南あわじウインドファームの風車

3 クリーンエネルギーファクトリー(株) (C E F南あわじウインドファームの風力発電)

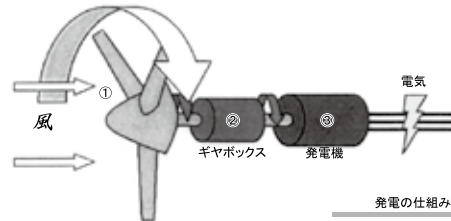
平成12年11月、風力発電を中心とするクリーンエネルギー事業の推進を目的として、北海道クリーンエネルギーファクトリー(株)(現クリーンエネルギーファクトリー(株))が設立され、翌年根室市で当時最新鋭の風力発電機の設置を皮切りに、これまで国内10箇所、100基の風車を建設、運転しています。

県内では、平成18年11月南あわじウインドファームが運転を開始しました。この施設は鳴門海峡をのぞむ南あわじ市阿那賀志知川、西路地区の海拔118mから226mの丘陵に建設され、地中ケーブルにより関西電力(㈱)の送電線に接続しています。アメリカGE Wind Energy 社製の高さ128.5m、ローターの長さ88mの風車が15基並んでおり、発電は1基当たり定格出力2,500kW、総出力は37,500kW、日本最大級の風力発電機で、約2,000世帯分の電力を賄うことができます。

発電の仕組みは、ブレード(風車の羽根)が風を

発電の仕組み

- ・ブレード(風車の羽根)が風を受けて回転運動に変換(下図①)
- ・ギヤボックスで発電機が発電を行うのに必要な回転数まで増速(下図②)
- ・発電機で回転運動を電気エネルギーに変換(下図③)



発電の仕組み

- ピッチ角制御装置
・風を最大限に受けるため可変ピッチでブレードの角度を制御します。
- 風向風速計
・風の状態を把握します。
- ヨー駆動装置
・風を最大限に受けるためヨー駆動装置で風車の向きを制御します。
- コンバータ(タワー内)
・コンバータは、風の強弱によって風車の回転数が変化しても、電気の周波数を一定に保つことができます。

大型風車の仕組み

タワー下部

発電の仕組み

受けて回転し、ギヤボックスで発電機が発電を行うことができる回転数まで増速させ、発電機で回転運動を電気エネルギーに変換させています。

風力発電は、無尽蔵でありながら不規則な風という自然現象を動力源とした発電システムであるため、常に状況に合わせた運転、保守、管理が求められています。

4 (株)ノヴァエネルギー (潮流発電・海流発電)

海には、潮の干満、波、海流などいろいろなエネルギー存在しています。効率よく取り出すことが出来れば、無尽蔵でクリーンなエネルギーの供給源となると期待され、世界各地で実用化の動きが進んでいます。

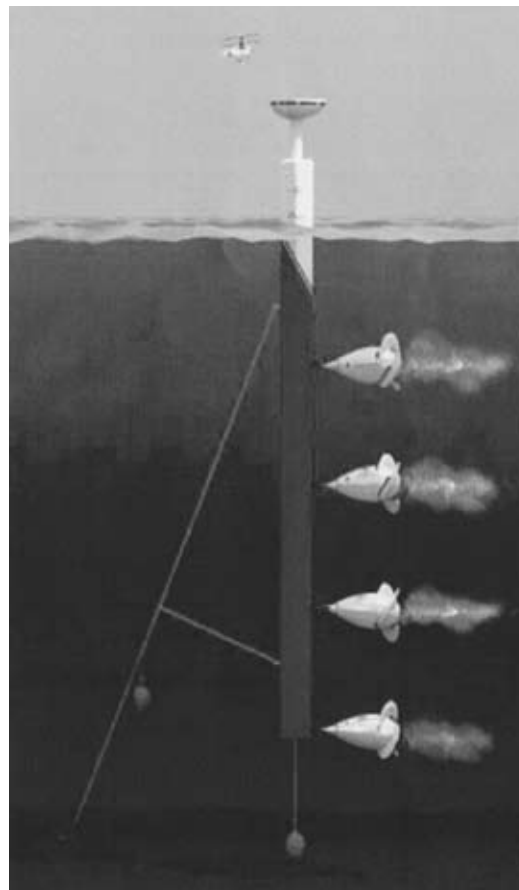
潮流発電は海峡などの速い潮の流れを、海流発電は黒潮など地球規模の流れを、海洋温度差発電は太陽の熱によって暖められた海面付近の海水と、深いところの冷たい海水との温度差を利用して発電するものです。このほか波力発電、潮汐発電、洋上風力発電などもあります。

(株)ノヴァエネルギーは、三木市にある小さなベンチャー企業で、鈴木社長は冷凍運搬船の船長などを勤めていた頃、海流の大きな力に150mの大型船が押し流されてしまうことから、このエネルギーを利用できないか考えるようになり、これまで風力と太陽光を利用した「電気のなる木」など環境教育の教材などを開発・販売する傍ら潮流発電の研究開発を行ってきました。平成20年2月、明石海峡の潮流を利用し、潮流発電の実用化を目指した試作実証実験を行い、200ワットの安定した電力を得ることに成功しました。潮流発電は海草やごみがプロペラに絡まるなどの問題がありますが、これを解消するため魚の進化をヒントにマグロやシャチ、ペンギンなどの形をしたプロペラを海中に沈め、この回転力で発電機を回す仕組みとなっています。

しかしながら、同社は、実用化には多額の費用がかかることと、日本では早期の許認可が困難なことから、潮流発電に国を挙げて取り組んでいる韓国での実現に向けて取り組みを進めています。

さらに、鈴木社長は、黒潮を利用した海流発電を実現したいとの強い思いを抱いています。東シナ海に長さ120mの垂直に延びた大型のブイに長さ25m、直径17mのプロペラ4基を取り付け、アンカーで固定した装置は、海流で回転したプロペラのエネルギーを油圧で最上部にある発電機に伝え、海底ケーブルで陸上に引き込むもので、2,000kWの発電を得ることができます。これを200機設置することにより、40万kWの発電量が得られると想定しています。また、海流は常に安定した流れがあり、稼働率は100%、原子力発電より建設コストは安く、核廃棄物の処理の問題もない。化石燃料は数十年先には枯渇するが、無限のエネルギーであるとその将来性を力説されています。

今後、技術開発が進み、安いコストでの設置が可能になり、国の支援体制が整備されるようになれば、周囲を海に囲まれ、世界2大海流の黒潮の通り道である我が国にとって、海洋エネルギーは究極の自然エネルギーになるのではないかと期待したいと思います。



海流発電のイメージ

兵庫県姫路警察署

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課

本施設は兵庫県姫路警察署の旧庁舎を建て替え整備したものです。

施設整備にあたっては、「環境配慮型の庁舎」「災害に強い庁舎」「ユニバーサルデザイン」等を整備目標としました。その概要について紹介します。



写真1 姫路警察署 外観

1. 環境配慮型の庁舎（図1）

① 太陽光発電

車庫・道場棟の屋上に太陽光発電設備30KWを設置し、自然エネルギーを活用しています。発電された電気は照明・OA機器等に利用しています。

② 屋上緑化

車庫・道場棟の屋上に緑化を施し、ヒートアイランド現象の緩和を図っています。

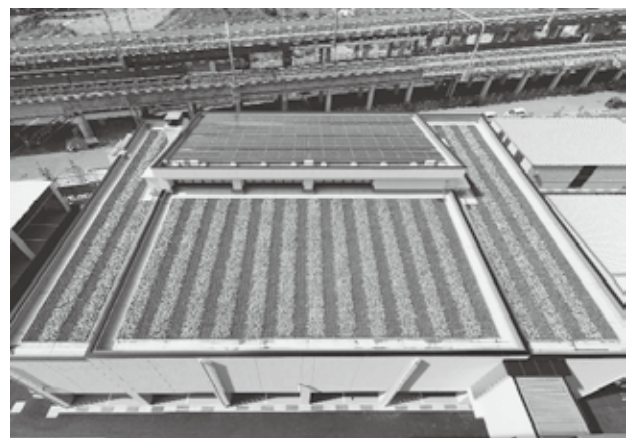


写真2 太陽光発電、屋上緑化

③ クール・ヒートピット

年間を通じて安定した地中熱を利用し、免震ピット内に空気を通すことで、空調に用いる外気の予冷・予熱を行い、省エネルギー化を図っています。

④ 井水利用

井水を便所洗浄水や屋外散水として使用し、水資源を有効利用しています。

⑤ 井水の熱利用

年間を通じて安定した水温となる地下水（井水）を水資源としてだけではなく、自然の熱エネルギーとして空調の外気負荷軽減にも有効活用しています。

⑥ マイクロ・コジェネ

小型ガスエンジンによる自家発電により電力と排熱を供給し、排熱は厨房の給湯に利用しています。また、マイクロ・コジェネを導入することで、安価なガス料金体系が適用可能となっています。

⑦ センサーによる照明制御

事務室の窓際の照明は昼光の明るさに連動する自動調光を行い、トイレ・階段の照明は人感センサー制御を行うことで省エネルギー化を図っています。

⑧ グラスパーキング

駐車スペースをガラスブロック舗装とし、雨水浸透とヒートアイランド現象の緩和に寄与しています。



写真3 グラスパーキング

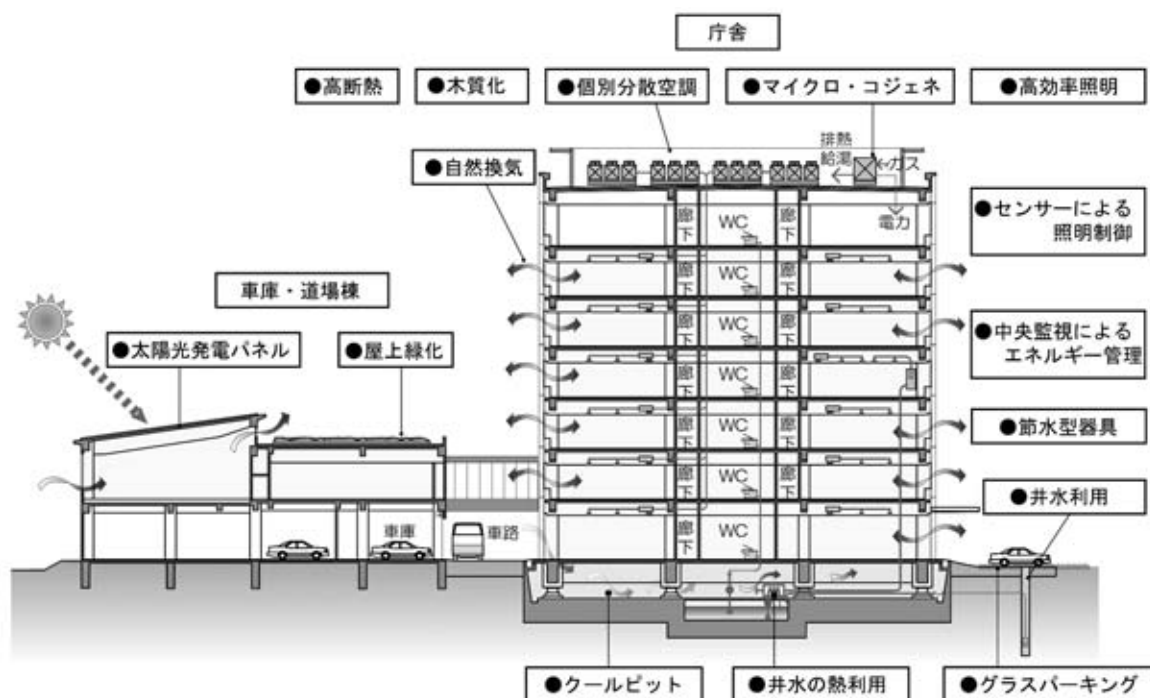


図1 環境配慮技術の概念図

2. 災害に強い庁舎

① 基礎免震構造 + R C 構造

建物基礎に免震構造を採用し、上部躯体をR C 構造として、耐震性と耐久性の高い建築躯体としています。また、電気配線には余長、設備配管には可とう継手を持たせ、免震層の変形に追従させ、耐震性能の向上を図っています。免震装置は鉛プラグ入積層ゴム支承タイプとしています。



写真4 免震ピット

② 洪水対策

当該地は河川氾濫時に0.5mの浸水が予測（兵庫県ハザードマップ）されています。それに対して1階レベルを周辺道路より0.5m以上高くすることで、浸水によるライフラインの機能不全を未然に防止しています。

3. ユニバーサルデザイン

① ゆとりある庁舎共用部

中央にE V・便所を設けシンプルな動線を構成し、車椅子利用者でも自在に動き回れるよう廊下幅1.8m以上を確保しています。また、廊下・階段は両側に手摺の設置、身障者対応E V、分かりやすいサイン表示など、兵庫県福祉のまちづくり条例の望ましい基準を具現化したモデルケースとして位置付けています。

② オストメイト対応トイレ

1階には男女別に、オストメイト対応のトイレを

設けています。また、2～6階のトイレは、内部に車椅子の転回スペースを確保しています。



写真5 オストメイト対応トイレ

4. 電気設備概要

① 受変電設備

電気室に下記仕様の薄型キュービクルを設置しています。

- ・ 3 ϕ 3 W6.6kV 1 回線受電
- ・ 変圧器：乾式モールド（JIS C 4306）
 - 1 ϕ 6.6kV/210V 200kVA $\times$ 2
 - 1 ϕ 6.6kV/210V 100kVA $\times$ 1
 - 3 ϕ 6.6kV/210V 300kVA $\times$ 2
 - スコット 210V/210-105V 200kVA $\times$ 1
- 合計 1,300kVA
- ・ 自動力率調整装置（79.8kvar $\times$ 1、53.2kvar $\times$ 2）



写真6 電気室

② 自家発電設備

車庫・道場棟の発電機室に下記仕様の発電機を設

置しています。

- ・用途：防災、保安用
- ・形式：屋内エンクロージャ式(超低騒音75dB(A))
ガスタービン発電機
空冷方式、電気始動方式
- ・出力：6.6kV375kVA
- ・燃料：A重油
- ・燃料タンク：屋内タンク11,000ℓ、小出槽700ℓ
- ・運転時間：連続48時間以上



写真7 車庫・道場棟発電機室

③ 直流電源設備

電気室に非常照明・受変電設備制御用として直流電源装置MSE長寿命形300Ah/10Hr×54を設置しています。

④ 幹線設備

2系統のEPSにバスダクトを設置し、縦幹線の省スペース化を図っています。

接地については雷サージ対策に有効な統合接地を導入しています。接地母線は等電位を確保するために、各フロアで3箇所構造体接続を行っています。なお、B種接地のみ単独接地とし、接地端子盤内で統合接地とSPDにて接続しています。

⑤ 電灯設備

事務室は初期照度補正機能付照明器具（埋込下面

開放型HF32W2灯）としています。窓側2列は照度センサー機能付照明器具により調光制御（25～100％）を使用しています。また、トイレ・階段も人感センサーによる制御を行うことにより省エネルギーを図っています。



写真8 事務室

⑥ 雷保護設備

JIS A 4201-2003（新JIS）規定に基づき、受雷部システムは、回転球体法により突針+棟上導体方式で保護レベルⅣを満足するものとしています。引下げ導線システムは構造体利用としています。接地システムは免震ピットの地中構造体を利用した構造体利用接地極としています。

⑦ 電話設備

電話交換機は別途工事であり、交換台・ダイヤルイン併用方式となっています。

⑧ 情報設備

通信機器室から各階端子盤・OA盤へUTPケーブル（CAT5e）をスター配線しています。

⑨ テレビ共同受信設備

屋上に設置しているUHFアンテナで地上デジタル波を受信し、各所に分配しています。

⑩ 拡声設備

宿直事務室に非常業務兼用アンプ（480W30局）を設置し、警務課に業務リモコンを設置しています。また、電話交換機とも連動し、ページング放送も可

能としています。

⑪ 映像音響設備

免許更新講習室と会議室に映像音響装置を設置しています。

- ・液晶プロジェクター、スクリーン、DVD等
- ・アンプ、スピーカー、ワイヤレスマイク

⑫ 情報表示設備

出退表示装置を各課に設置しています。
電気時計は親時計を1階宿直事務室に設置し、子時計を柔剣道場他2箇所を設置しています。

⑬ 誘導支援設備

視覚障害者対応の音声誘導装置を表玄関に設置しています。

多機能使所にはトイレ呼出装置を設置しています。

⑭ インターホン設備

屋外出入口系・施設管理系・護送系・取調室系・留置場系等の系統ごとに、用途に合わせた各種インターホンが設置されています。

⑮ 監視カメラ設備

屋外出入口系・施設管理系・護送系・取調室系・留置場系等の系統ごとに、監視カメラを設置しています。デジタルレコーダー等の主装置は宿直事務室に設置しています。

⑯ 入退室管理・防犯設備

電気錠とテンキーを用いた入退室管理を行ったり、侵入センサー等を設置することで、屋内外のセキュリティを確保しています。

⑰ 防災設備

宿直事務室にGR型受信機を設置し、約470回線の監視を行っています。



写真9 宿直事務室

⑱ 中央監視設備

宿直事務室に中央監視装置を総合盤組込で設置しています。警務課には副表示器を設置しています。

⑲ 太陽光発電設備

多結晶タイプの太陽光発電30kWを設置しています。エントランスロビーに表示装置を設置し、来庁者に普及啓発を行っています。(NEDO平成20年度地域新エネルギー導入補助事業)

- ・屋上(車庫・道場棟): 30kW



写真10 太陽光パネル

⑳ 昇降機設備

下記の3基を設置しています。

- ・1、2号機：庁舎(2台群管理)
(1号機：乗用・車椅子兼用、2号機：乗用)
定員：15人 90m/min
7階停止

- ・ 3号機：庁舎（乗用）
定員：13人 60m/min
3階停止



写真11 エントランスロビー



写真12 エレベーターホール



写真13 夜景

5. 建築概要

所在地：兵庫県姫路市市之郷926番地 5
敷地面積：8,464.63㎡
建築面積：3,606.84㎡
延面積：12,081.40㎡
構造規模：庁舎：R C造 7階建
道場・車庫棟：R C造 2階建
工期：2007年12月～2009年 8 月
設計監理：兵庫県県土整備部住宅建築局
営繕課・設備課
(株)日本設計関西支社
庁舎棟建築：真柄・丸正・ハマダ J V
付属棟建築：(株)坪田工務店
電気設備：白菱・ダイトウ J V
受変電・自家発電設備：(株)陵南
昇降機設備：東芝エレベータ(株)
太陽光発電設備：(株)横山電気
空気調和設備：長村・和田 J V
衛生設備：(株)水明堂
ガス設備：大阪ガス(株)

神戸市立『海外移住と文化の交流センター』の設備概要

神戸市都市計画総局建築技術部設備課

■ 事業の目的及び背景

「海外移住と文化の交流センター」は、1928（昭和3）年に「国立移民収容所（後の神戸移住センター）」として建設され、ブラジルなどの中南米諸国へ25万人の移住者を送り出した施設です。海外移住者はここで出国手続きや健康診断などを行うとともに、語学や移住先の国に関する講習を受けて新天地へと旅立って行きました。

1971（昭和46）年に移住センターとしての役目を終え、その後は看護学校や、震災後は神戸海洋気象台の一部として使われました。

1999（平成11）年からは芸術活動の拠点として活用され、2002（平成14）年には神戸移住資料室を開設、2003（平成15）年からは在日ブラジル人の生活支援の場ともなりました。

この間、ブラジルの日系人団体から、国内で唯一現存する移住関連施設となった旧神戸移住センターを永久保存してほしいとの要望が出されました。そこで神戸市では、国内外からのご協力を得ながら、移住関係者にとっての“心の故郷”であるセンターを、海外移住の歴史と意義を後世に継承するとともに、多文化共生の拠点施設としての再整備することを決定しました。

ブラジル移住100周年記念の年である2008（平成20）年4月28日、神戸市長によって保存・再整備工事の着工宣言が行われ、2009（平成21）年6月3日に「神戸市立海外移住と文化の交流センター」として新たに開館しました。

新しいセンターは、三つの広場（機能）を備え、過去・現在・未来にわたる人びとの交流の場として、広く市民や来館者に開かれた施設となっています。

■ 施設の機能

① 希望と未知への船出の広場（移住ミュージアム機能）

海外移住の歴史・意義を広く一般に伝えるとともに、次代に継承するために必要となる、神戸に関連する海外移住資料の展示・関連情報の発信機能

② 多文化との共生の広場（在住外国人支援機能）

増加する南米系日系人を中心とした在住外国人の支援、市民との相互理解・共生を促進する機能

③ 芸術を生かした創生の広場（国際芸術交流機能）

これまでの施設利用形態をふまえた、地域と連携する芸術交流機能とともに、移住ミュージアム、在住外国人支援の機能と連携し、多文化共生、地域活性化を具現化する機能

■ 建物概要

構造・規模：RC造 地下1階地上5階

所在地：中央区山本通3丁目120番1号、56号

敷地面積：3,278.934㎡

建築面積：1,296.28㎡

延べ面積：3,726.77㎡

工事期間：H20. 5. 1～H21. 6. 1

工事費：512百万円

（下記各工事の合計）

建築工事：334,740,000円

電気設備工事：95,921,700円

機械設備工事：66,087,000円

ガス設備工事：3,858,750円

昇降機設備：11,970,000円

■ 特徴

① 天井レス建物への対応

既存建物に天井がなく、また、階高が低いため、ほぼ全ての機器・配管が露出となります。

このため、機器の選定や配線・配管の施工に際して、見えがかりを考慮した仕様としています。

- ・照明器具……ケーブルラック埋込みダウンライト、段違いラック＋薄型照明器具
- ・冷媒配管……鋼板製ラッキング仕上げ
- ・ドレン管……空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管
- ・ダクト……鋼板製ラッキング仕上げ

② だれもが使いやすい建物への対応

施設を持つ機能から、多様な利用者を対象とする必要がありました。

このため、E V棟を増築し移動の円滑化を、また、1階には多目的トイレを設置しオストメイト対応をおこなうなど、だれもが使いやすい建物を目指しています。



図1 付近見取り図

■ 電気設備計画

① 受変電設備

架空線引き込み 6.6kV 1回線

屋外キュービクル受電

設備容量：単相変圧器75kVA×2台（油入式）

三相変圧器75kVA×1台（油入式）

進相コンデンサー30var×1台（油入式）

直列リアクトル

② 幹線動力設備

屋外キュービクルから各所の電灯盤・動力盤への幹線工事及び盤以降の配線設備工事

屋外～建物：地下埋設

建物内縦幹線：配管ダクト

各階横幹線：ケーブルラック

※既存建物の改修で天井までの高さが低くかつ展示場等の意匠性・展示物の変更に対応するため、幹線はケーブルラック方式としました。また、中央階段部の高さを確保するため、左右幹線方式としました。

③ 電灯・コンセント設備

基本照明：高効率蛍光灯（Hfインバータ）（薄型照明器具及びダウンライト）

メタルハライド照明器具

ハロゲン照明（1・2階展示場）

照明制御：リモコン制御

※照明器具については、既存建物の階高や展示場等の意匠上の制約に対応するため、次のとおり器具を使い分けています。

一般事務室：薄型照明器具

一般通路部：段違いラック間に薄型照明器具

展示場：間接照明器具

ダウンライト

ハロゲン照明器具

展示通路部：ケーブルラック埋込みダウンライト（漏れ明かりを利用した間接照明）

※地球環境への配慮として、配線材料には、エコ

ケーブルを採用しています。また、Hf インバータ器具を採用するとともに、人感センサにより、調光制御（避難通路照明）及びON/OFF制御（便所）を行なうなど、省エネルギー化にも取り組んでいます。

※メンテナンス性を考慮し、使用電球の種類を少なく抑えるとともに、蛍光灯・メタルハライドランプ・無電極電球使用等によりロングライフ化も図っています。

④ 放送設備

館内放送設備一式

⑤ 電話設備

基本は展示場・主要事務室については配管配線

⑥ 情報設備

各階幹線用堅配管

通路ラック～事務室間配管

⑦ テレビ共聴設備

地上波デジタル対応・BSCS対応

各事務室のみ実装・CATVも対応配管施工

⑧ トイレ呼び出し設備

多目的トイレ（だれでもトイレ）及び、各階トイレに押しボタンを設置

警報表示盤：1階管理員室に設置

⑨ ITV・インターホン設備

屋外付属駐車場用ITV×2台

モニタテレビ管理員室内1台

インターホン本館2台・駐車場用1台

EV用インターホン1台

⑩ 駐車場設備

2ゲート料金後払い方式

一括チェーンゲート1式

■ 機械設備計画

① 給水設備

既設引込み（100φ）を50φに改修
直結直圧方式にて各階各部へ給水

② 排水設備

建物内汚水・雑排水 合流方式

③ 給湯設備

ガス瞬間湯沸し器による局所給湯方式

④ 衛生器具設備

大 便 器：小水量便器の採用
（大6L・小5L）

小 便 器：自動フラッシュの採用

多目的トイレ：オストメイト対応器具

※天井レスのため、壁排水器具を採用。

⑤ 消火設備

屋内消火栓設備

易操作性1号消火栓設置

1階消火ポンプ室にポンプユニット設置

消火水槽新設（建築工事）

※消火栓および消火ポンプは設置後年数が短いため、既設機器を再利用しました。

※消火水槽は設置スペースを考慮し、空調室外機置場下部に設置しました。

⑥ 空調設備

ガス及び電気式ヒートポンプエアコンの設置

一 般：GHPマルチタイプ

管理諸室：EHP

※利用形態・主体が多種にわたるため、料金按分機能付き集中管理コントローラーを設置しました。

※屋内露出部の冷媒配管は見えがかりを考慮し、ラッキング施工。また、ドレン配管は、空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管を採用しています。

⑦ 換気設備

1階・5階：全熱交換器を設置（1種換気）

一般居室：24時間換気用パイプファンを設置
（3種換気）

※屋内露出部のダクトは見えがかりを考慮し、
ラッキング施工。

⑧ ガス設備

大阪ガス本管150φより100φで引込み

一般系・空調系メーター設置

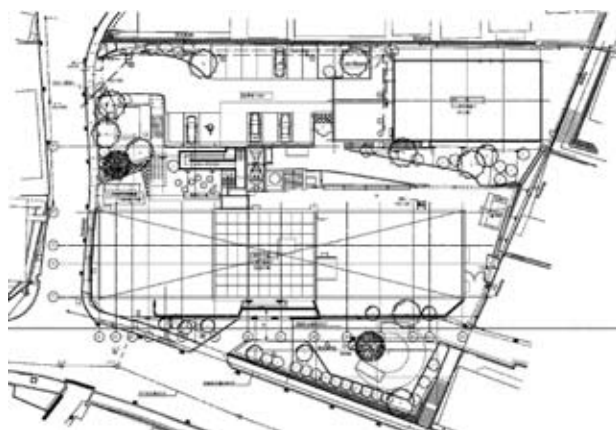


図2 配置図・平面図

■ 昇降機設備計画

① 昇降機設備

マシンルームレス E L V

5 停止 750kg11人乗

速度60m／分・インバータ制御方式

昇降行程16m・2枚戸開き・遮煙ドア

身体障害者仕様（車椅子・視覚障害者）

管制運転（停電・火災・地震P波）

かご内監視カメラ付

モニター・インターホン（管理員室）



写真2 建物エントランス



写真1 建物外観



写真3 中央階段より



写真4 多目的(だれでも)トイレ(オストメイト対応)



写真7 テレビ共聴設備(地上デジタル対応)



写真5 配線ラック埋込みダウンライト



写真8 外灯・防犯カメラ設備



写真6 段違いラック+薄型照明器具



写真9 男子トイレ(壁排水対応)



写真10 屋内消火栓設備(既設再利用)



写真13 露出ダクト(鋼板製ラッキング)



写真11 露出冷媒配管(鋼板製ラッキング)

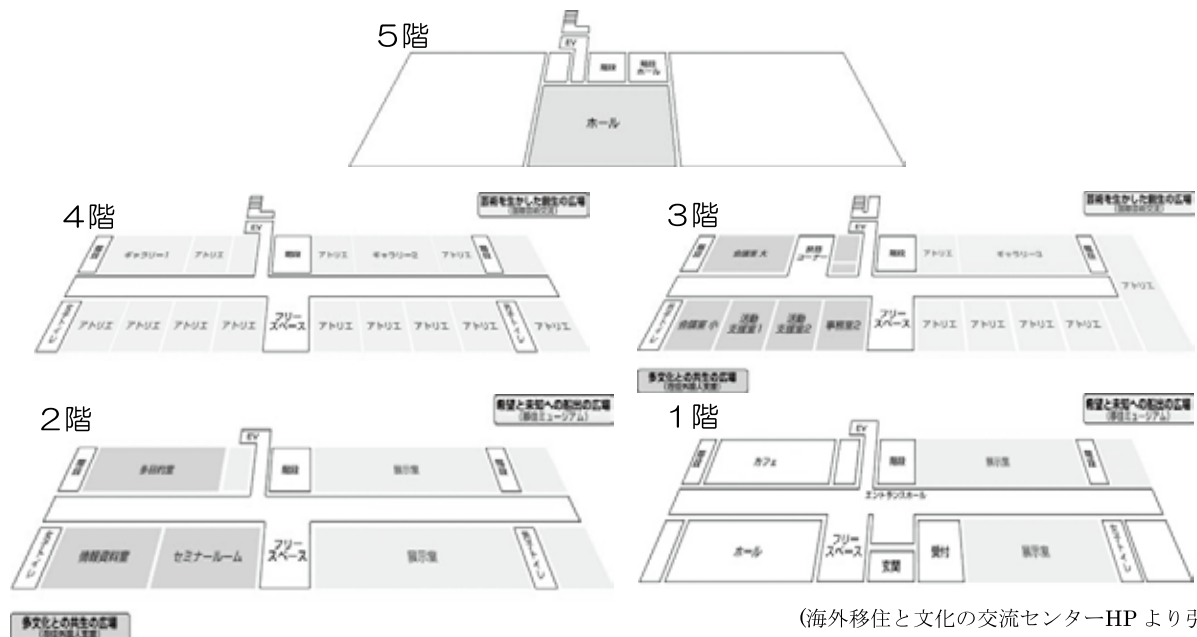


写真14 昇降機設備11人乗り
(身体障害者仕様(車椅子・視覚障害者))



写真12 室外機置場(下部に消火水槽)

■ 建物案内図



■ 施工体制

発注者：神戸市国際文化観光局国際推進室国際交流課

設計：株式会社 浦辺設計 / 神戸市都市計画総局建築技術部 建築課 設備課

工事監理：神戸市都市計画総局建築技術部 建築課 設備課

施工会社：建築工事 関西建設工業株式会社

電気設備 株式会社 明和工務店

機械設備 株式会社 ダイユウ設備

昇降機設備 フジテック株式会社

ガス設備 大阪ガス株式会社

「LED照明」その光源のスペック進化と普及に向けた課題

三菱電機照明株式会社

生産本部LED事業推進室LED企画グループ

グループマネージャー 山内 崇弘

はじめに

京都議定書における温室効果ガスの排出削減の第1約束期間が2008年度よりスタートした。世界規模でその取組みが行われている中、日本はCO₂排出量が2007年度時点で基準年（1990年度）比8.7%増と悪化傾向にある。わが国は2012年までにCO₂排出量を基準年比▲6%を実現せねばならず、電力需要の20～30%を占めると言われる照明用途での電力消費量削減やランプ廃材削減による地球環境保護は喫緊の課題である。このような状況下、政府はエネルギー消費効率の悪い「白熱電球」の製造・販売中止の表明（2008/4）や、省エネ法の改正（2008/5公布）等、その実現に向けた施策を講じるとともに、現鳩山政権は2009/9に「2020年までに1990年比で25%の排出量削減を目指す」と表明。ここ数年飛躍的にチップ・パッケージの高効率化と低コスト化が進んでいる白色LEDは、その実現に向けたのキーアイテムのひとつとして脚光を浴びている。

1. LED光源のスペック進化から見たLED照明の現状と可能性

1.1 LED光源採用の判断材料

照明用途で使用されるLED光源は主に白色系と電球色系の2つのタイプに大別され、それぞれに発光効率重視の高効率タイプと、出力は多少犠牲にして演色性を重視する高演色タイプがある。

これら4タイプのLED光源の既存光源に対する優位性を判断する材料として、光源効率（lm/W）と光源コスト（円/lm）が挙げられる。

1.2 LED光源効率

現在、4タイプのLED光源は、いずれも白熱電球・ローボルトハロゲン及び誘導灯に使用される冷陰極ランプの効率を上回っている状況である。

一方、蛍光ランプとLED光源の現状比較は下記の通りである。

- ① 白色系高効率：コンパクト蛍光ランプ（FHT24W：75lm/W）を上回り、直管（Hf32

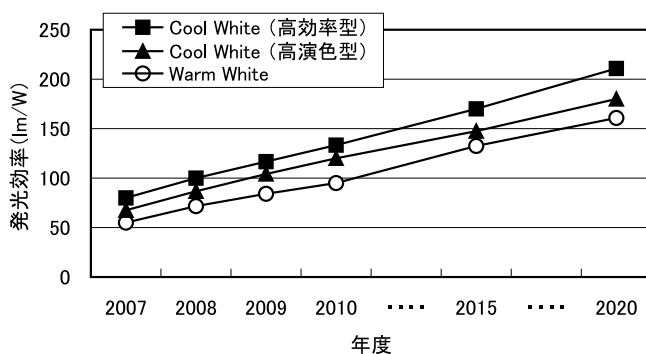


図1.2-1 LED光源 発光効率予測ロードマップ

出典：JLEDS Technical Report Vol2（LED照明推進協議会）(<http://www.led.or.jp/>)

※ Cool White（高効率型）＝白色系高効率、Cool White（高演色型）＝白色系高演色
Warm White＝電球色系高効

W：110lm/W)」に迫る状況。

- ② 白色系高演色・電球色系高効率：コンパクト
蛍光ランプ（FHT24W：75lm/W）」を上
回る状況。

LED光源の発光効率は既存光源で高効率の蛍光
ランプのレベルまで置換可能な状況に迫りつつある。

また、LED光源メーカーからは100lm/W超の
高効率パッケージ量産化が活発に広報されつつある。

但し、上記比較はLEDパッケージレベルの話で
ある。LED照明器具の効率は、電源回路や器具内
温度の影響を受ける為、LEDパッケージ単体の発
光効率よりも低下する。これについては後述の課題
で触れる。

また、照明器具へのLED光源採用は光源コスト
も併せた判断が必要である。

	白熱電球 40W	ローボルトハロゲン		冷陰極管		蛍光ランプ	
		35W	55W	2W	3W	FHT24W	Hf32W
発光効率（lm/W）	13.5	13.9	19.6	32.5	45.0	75.0	110.0

図1.2-2 既存光源 発光効率

1.3 LED光源コスト

LED光源の1lmあたりの単価は大幅に低コスト
化しているものの、依然として白熱電球や蛍光ラ
ンプと比べて高い状況にある。（図2.3-1）

2003年

	白熱灯	蛍光灯 (電球形)	LED
円/lm	0.2~0.3	1.4~2.0	30~60



2008年

	白熱灯	蛍光灯 (電球形)	LED
円/lm	0.2~0.3	1~2	3.5~10.5

三菱電機照明調べ

図1.3-1 光束単価比較

1.4 LED照明器具のタイプ別拡大

上述の効率アップ、コスト低減により、「表示・
サイン灯」から省エネ性を確保しつつ大光量・高演

色性が求められる「店舗・オフィス用途照明」へと
適用範囲は広がりつつあり、そのスピードは加速し
ている。

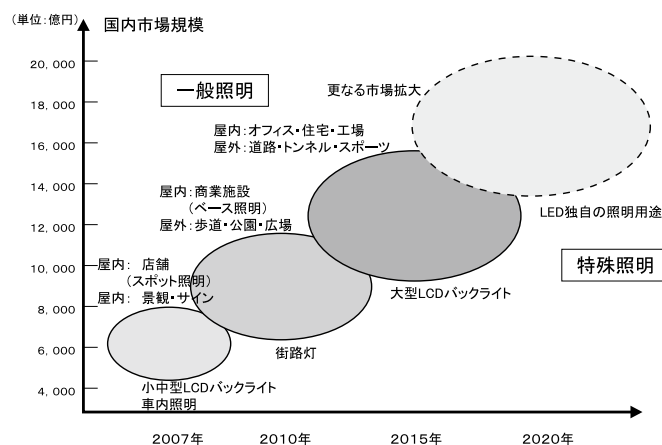


図1.4-1 国内におけるLED照明タイプ別拡大予測

出典：JLEDS Technical Report Vol2（LED照明推進協議会）(<http://www.led.or.jp/>)

※ 市場規模にはLED光源単体も含まれる

2. LED照明器具普及促進に向けた課題

2.1 器具総合効率の向上

LED光源を器具に搭載し際、器具駆動電源はACを使用するのが一般的だが、AC→DC変換時に電源回路による効率ダウンが生じる。また、適正配光を得るためにレンズ等の光学系部材に光を通すことによる効率ダウンも生じる。更に、器具内にLED光源を組み込んだ際、光源周囲温度が上昇することにより効率が低下し、大電流を通して器具を高出力化することによっても効率低下が生じる。これら

の発光効率低下要素を加味すると、LED照明器具は、本来LED光源が持つ発光効率の50～60％程度しか発揮できない。仮に100lm/WのLED光源を採用しても、器具総合効率は50～60lm/W程度でしかないということである。

現在、各照明メーカーは器具としての総合効率向上を図るため、これら損失要素を最小限に抑えるべく努力を重ねている状況にあり、LED光源ポテンシャルの80％超を活かせる製品（80lm/W超）も市場投入されつつある。

	08年製品 白熱電球 60W 相当		09年製品 コンパクト蛍光灯 FHT32W 相当
光源発光効率(lm/W)	70.2		101.0
器具効率(%)	80.6		82.1
器具総合効率(lm/W)	56.6		82.9

図2.1-1 LED照明器具総合効率(三菱電機照明製ダウンライト 白色系高効率タイプでの一例)

但し、光源の発光効率以上の高効率化は望めず、LED光源の更なる高効率化は必須条件となる。特に電球色系高演色タイプのLED光源については、光の質（演色性）を重視する店舗・商業施設分野でLED器具を普及拡大していく為に光源の高効率化による総合効率向上が喫緊の課題である。

2.2 LED光源の「色バラツキ」

LED光源は製造時の「色（色度）バラツキ」の範囲が広く、光の質を求められる演出系照明器具に使用する際には注意が必要である。選択肢のひとつとして、色度範囲を指定して採用・搭載することも考えられるが、これはコストアップ、つまり次項に挙げる器具価格の上昇に繋がる。

2.3 LED照明器具価格

市場でLED照明器具の普及を促進するに欠かせない要素として器具価格が上げられる。

現状、従来光源搭載器具とは数倍の価格差がある。

価格差の発生要因はLED光源価格由来だけでなく、駆動電源、適正配光を得るためのレンズ、LED光源から発する熱を逃がすためのヒートシンクといった他の構成部材が必要となる点にある。LED光源価格の更なる低減に加え、他の構成部材の低価格・高品質素材の追及から設計・製造に至るトータルでのコスト削減を図り、より市場が採用に踏み切り易い価格にしていけることが器具メーカーとしての今後の課題である。

一方、提案・販売サイドは初期投資額だけでの商談ではLED照明を受注に結びつけることはなかなか難しく、初期投資をランニングコストで回収するライフサイクルコスト（LCC）視点での提案活動が重要かつ必須となってくる。照明メーカー、提案・販売サイドとも、ランニングコストの差異が環境保護に繋がることをユーザーに啓蒙していくことが課題である。

2. 4 直管蛍光ランプ形LEDの台頭

昨今、既設照明器具にランプ交換感覚で取付け可能な直管蛍光ランプ形LEDが市場に出回り始めている。

米国エネルギー省はこの種のランプの性能評価を実施し、これらのランプは蛍光ランプに比べてまだ性能が低く、蛍光ランプ代替としては不十分と評価している。日本でも（社）日本電球工業会が性能と安全性についての評価を行い、2009／7に当該ランプ（40形直管蛍光ランプと同じサイズの直管ランプ形LED）7機種の下記項目に関する性能、及び安全性の調査結果を公表した。

調査結果は、「今回試験した製品は、現段階では性能面、安全面とも“蛍光ランプの代替品としては未成熟である”」（注1）とのことである。

※注1：公表原文のまま。出典：LED照明の正しい普及促進のために－課題と対応－（2009. 7.24 （社）日本電球工業会）

2. 5 LED関連規格の整備

LEDは発光原理が既存光源とは全く異なる為、既存光源や照明器具の評価と整合が可能なLED独自の測定方法・安全基準・性能要求事項の整備が課題となっている。現在の規格整備状況は図2.5-1の通りである。

このような規格制定を進めている一方、LED光源とLED照明器具はごく一部（注2）を除いて電気用品安全法の適用対象外であり、市場流通製品の安全性にバラつきが生じている要因の一つにもなっている。

安全かつ安心できる製品の持続的投入がLED市場を発展させることにつながるため、一刻も早い対象品目化が今後の課題である。

※注2：LEDを使用した下記製品は対象となる

①電気スタンド、②ハンドランプ、③庭園灯器具、④広告灯、⑤装飾用電灯器具

	種別	規格番号	規格名	制定	備考
測定	LED	JISC8152	照明用白色発光ダイオード（LED）の測定方法	2007.7.20制定	4団体規格（04.11.12制定） 06.3.22改定→JIS化
安全	LEDモジュール	JISC8154	一般照明用LEDモジュール－安全仕様	2009.3.20制定	
	LED電源	JISC C 8147-2-13	ランプ制御装置 第2－13部：直流又は交流電源用LEDモジュール用制御装置の個別要求事項	2008.10.20制定	
	発光の安全	TSC0038 (CIE S009／E 2002)	ランプ及びランプシステムの光生物学的安全性	2004.11.20公表	
性能	LED器具	JIL5006	照明用白色LED性能要求事項	2008.1.11制定	
	LEDモジュール	TSC8153	照明用白色LED装置性能要求事項	2007.7.20公表	有効期限 2010.7.19
		JISC××××	一般照明用LEDモジュール－性能仕様	2010制定予定	原案作成中 (このJIS規格が TSC8153に置き換わる)
	LED電源	JISC8153	LEDモジュール用制御装置－性能要求事項	2009.3.20制定	

図2.5-1 LED関連規格等一覧

第53回 通常総会・懇親会



平成21年 6月12日（金）神戸市中央区の生田神社会館で第53回通常総会を開催し、平成20年度事業報告及び収支決算が満場一致で承認されました。

通常総会は、午後 3 時30分生田神社会館 3 階菊において122社（委任状提出62社を含む。）の出席のもと田中理事（総務副委員長）の司会により開会しました。

建設業関係殉職者・当協会関係物故者に対して黙祷を捧げた後、藤井会長が開会の挨拶を行いました。

議長選出、総会成立宣言、議事録署名人選出に続いて議事に入りました。第 1 号議案「平成20年度事業報告に関する件」及び第 2 号議案「平成20年度収支決算に関する件」が一括上程され、指名を受けた平井副会長及び大川常任理事（総務委員長）から議案説明の後、丸尾監事から監査報告があり、両議案とも異議なく可決承認されました。

続いて山口電気工事㈱の山口氏から提案のあった 7 月 5 日の兵庫県知事選挙における井戸敏三知事の推薦決議を可決しました。

最後に西村副会長が審議協力に対する謝意を述べ、総会は終了しました。

総会終了後、新入の 9 会員の紹介が行われました。

藤井会長挨拶（要旨）

本総会は当初 5 月開催でご案内したが、井戸知事が全国知事会に出席されるということがわかり、今年は知事選挙もあるので、知事がお見えになる日がよからうということで、皆様にご理解をいただき本日となった。

景気の関係もあって、業界を取り巻く情勢は厳しく、協会会員から「施主から着工延期を言ってくるが、材料も手当してしまっている。商法上損害金を取れないだろうか。」といった質問が持ち込まれる。景気が悪くなっている表れだと思う。

建築関係の予算は、県市合わせて2.5割～3割程度まで落ち込んでおり、今年は景気対策が予定されているものの、大変な苦戦を強いられている。我々専門建築業者も仕事の分量は減ってきており、競争の激化が価格低下に繋がるなど厳しい現状を迎えている。しかしながら、市場は底を打ち、今後は踊り場から階段を上がっていくとの観測もあり、元に戻るには時間もかかるが、回復基調だということは間違いないと思われる。会員各社は、このような時代の中で、生き残り、儲けなければならない。アイデア、努力でこの難局を乗り切っていただきたい。

一方、大手会員が40社ほど退会し、会費収入が半分以上落ち込んだため財政面で厳しい状況に陥った

が、立て直しに努力しているところである。会員が20～30社増加すれば驚くことはないので、理事会の中でも1理事1社ずつ勧誘して欲しいとお願いしているが、会員の皆さんも何とか1～2社声をかけていただきたい。数は力である。

また、いろいろな情報や意見を協会又は地区担当理事に伝えていただき、協会が力強く前進できるよう我々も努力するので、よろしくお願いしたい。

更に、この夏知事選挙があるが、県の体制を任せられるのは井戸さんだと思うので、この後の推薦決議には、盛大なる拍手でご承認いただきたい。

引き続き、午後5時から同会館4階富士に場所を変え、兵庫県知事 井戸敏三氏、同副知事 五百蔵

俊彦氏をはじめ兵庫県・神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、約130名が参加して懇親会が盛大に催されました。

開宴に先立ち、今春黄綬褒章を受章した河野賢三副会長及び平成21年度兵庫県功労者表彰を受けた平井伸幸副会長に藤井会長から協会祝い金が手渡され、祝意を表しました。

懇親会は、藤井会長の挨拶、井戸知事の祝辞と続き、藤井会長から井戸知事に今夏の知事選挙に対する当協会からの推薦書を手交しました。来賓紹介、祝電・メッセージ披露と続き、川端相談役の発声による乾杯で、和やかな懇親パーティーに入り、出席者の交流を図りました。



懇親会での交流



藤井会長挨拶



井戸知事祝辞



推薦書手交

[第52回通常総会の概要]

- 1 開催日時 平成21年1月21日(水) 15時30分～16時20分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階菊
- 3 出席会員 97社(委任状46社を含む。)
- 4 議 事
 - ① 平成20年度収支補正予算に関する件

- ② 平成21年度事業計画に関する件
- ③ 平成21年度収支予算に関する件
(全て原案可決)
- 5 そ の 他 総会終了後、永年勤続優良従業員表彰及び賛助会員の紹介、兵庫県知事はか来賓を迎えて新年名刺交換会を開催

理 事 会

当協会では、この1年間に次のとおり9回理事会を開催し、業務の執行について審議し、決定しました。

平成20年度第7回理事会

- 1 日 時 平成21年2月7日(土)
- 2 開催場所 井づづや会議室
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入・退会について
 - ② 平成20年度第2回地区懇談会の開催について
 - ③ 第53回通常総会・懇親会の日程について
 - ④ 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催について

平成20年度第8回理事会

- 1 日 時 平成21年3月4日(水)
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入会について
 - ② 1級学科電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の実施について
 - ③ 建設業と地域の元気回復事業について
 - ④ 社団法人日本電設工業協会の平成22年度税制改正要望について
 - ⑤ 〓暴力団追放兵庫県民センターからの要請について
 - ⑥ 帝国データバンクのデータベース登録について



- ⑦ 平成21年度県管理河川等公共施設愛護活動の実施について

平成21年度第1回理事会

- 1 日 時 平成21年4月16日(木)
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入・退会について
 - ② 年会費の納入依頼について
 - ③ 平成21年度事業実施計画について
 - ④ 第53回通常総会及び懇親会の開催について
 - ⑤ 建設業と地域の元気回復事業について
 - ⑥ 電子認証に係る会員への推薦について
 - ⑦ 収支バランス対策について
 - ⑧ 慶弔等に関する内規の改正について

平成21年度第2回理事会

- 1 日 時 平成21年6月9日(火)
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入会について
 - ② 相談役の辞任について
 - ③ 第53回通常総会及び懇親会の開催について
 - ④ 安全衛生推進大会及び安全衛生優良工事表彰について
 - ⑤ 技術講習会の開催について
 - ⑥ 施設見学会の開催について
 - ⑦ 1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会の開催について
 - ⑧ 経営講演会の開催について
 - ⑨ 建設業と地域の元気回復事業について
 - ⑩ 建設技能者確保・育成モデル事業について
 - ⑪ インターンシップの受け入れについて
 - ⑫ 高校生ものづくりコンテスト電気工事部門兵庫県大会特別審査員の派遣について

-
- ⑬ エコアクション21・関係企業グリーン化プログラムについて
 - ⑭ 分離発注の陳情活動について
 - ⑮ 総合評価方式に関するアンケート調査について
 - ⑯ 自民党県連の平成21年度政府・兵庫県・神戸市予算編成に対する最重点要望について
 - ⑰ 事務所移転問題について
 - ⑱ 知事選挙対応について

平成21年度第3回理事会

- 1 日 時 平成21年7月14日（火）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入会について
 - ② 県との行政懇談会の開催について
 - ③ 会報No.29（2010.1）の発行について
 - ④ インターシップの受け入れについて
 - ⑤ 近畿6電業協会災害時相互応援協定素案について

平成21年度第4回理事会

- 1 日 時 平成21年9月15日（火）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入会について
 - ② 会報No.29（2010.1）の発行について
 - ③ 永年勤続優良従業員表彰について
 - ④ 公益法人制度改革推進方針について
 - ⑤ 経費削減対策及び平成22年度予算編成について
 - ⑥ 近畿6電業協会災害時相互応援協定について
 - ⑦ 施設見学会の開催について
 - ⑧ 省エネ製品等普及促進に関する協定締結について
 - ⑨ 太陽光発電に関する技術講習会の開催について
 - ⑩ 専門工事コスモスについて
 - ⑪ 「コウノトリ翔る但馬まると感動市」への参加について

平成21年度第5回理事会

- 1 日 時 平成20年10月19日（月）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 正会員の入会及び賛助会員の退会について
 - ② 会報No.29（2010.1）の広告協賛金について
 - ③ 近畿6電業協会「災害時の相互応援協に関する協定」締結式について
 - ④ 台風9号の義援金について
 - ⑤ 太陽光発電に関する技術講習会の開催について
 - ⑥ 県と他団体との防災協定の締結等に伴う入札制度の改善要望について
 - ⑦ 「ふれあいの祭典・コウノトリ翔る但馬まると感動市」への参加について
 - ⑧ 表彰規程の改正について

平成21年度第6回理事会

- 1 日 時 平成21年11月16日（月）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 副会長の辞任届の提出について
 - ② 永年勤続優良従業員表彰について
 - ③ 役員選任に係る内規の改正について
 - ④ 政治資金パーティーについて
 - ⑤ 県と他団体との防災協定の締結等に伴う入札制度の改善要望について
 - ⑥ 主要行事予定及び日程調整について

平成21年度第7回理事会

- 1 日 時 平成21年12月8日（火）
- 2 開催場所 協会事務局
- 3 協議事項
 - ① 賛助会員の退会について
 - ② 平成21年度補正予算について
 - ③ 平成22年度事業計画及び収支予算案について
 - ④ 第54回通常総会及び平成22年新年名刺交換会の開催について
 - ⑤ 暴力団追放対策講習会の開催について
 - ⑥ 主要行事予定及び日程調整について

委 員 会

1 総務委員会

総務委員会は、委員長以下10名の委員で組織され、この1年間に7回の委員会を開催し、総会・理事会の開催計画、会員の入・退会、事業計画の策定、行政懇談会・地区懇談会の開催、永年勤続優良従業員表彰の実施、会報の作成などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれら事業を執行しました。



2 技術・安全委員会

技術・安全委員会は、委員長以下9名の委員で組織され、この1年間に4回の委員会を開催し、技術講習会・施設見学会・1級施工管理技術検定受験対策講習会・安全衛生推進大会の開催、安全衛生優良工事表彰、災害対策等緊急体制の整備、こども110番の車パトロール事業、暴力団追放活動講習会などについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれら事業を執行しました。



3 経営委員会

経営委員会は、委員長以下9名の委員で組織され、この1年間に4回の委員会を開催し、インターンシップの受入、高校生ものづくりコンテストへ特別審査委員の派遣等将来の電気技術者の養成、県管理河川等公共施設愛護活動の実施、経営講演会&兵庫県工事検査結果講習会、エコアクション21関係企業グリーン化プログラムなどについて計画案を策定するとともに、理事会で決定したこれら事業を執行しました。



4 公益法人制度改革特別委員会

公益法人制度改革特別委員会は、副会長を含めた10名の委員で組織され、公益法人制度改革に対応することにしていますが、現在、内容が専門的で多岐にわたることもあって、論点を整理するため実務作業を行うプロジェクトチームで検討しています。



平成21年度兵庫県との行政懇談会



恒例の行政懇談会

平成21年7月31日、社団法人兵庫県空調衛生工業協会と合同で兵庫県との恒例の行政懇談会が開催されました。県側からは県土整備部の竹本県土企画局長、川端住宅建築局長の両局長を始め、前田設備課長、奥野契約管理課長など担当職員が、当協会からは藤井会長を始め、副会長、専務理事、常任理事が出席しました。

竹本局長の挨拶に引き続き、両協会長からそれぞれ、協会を取り巻く課題や取り組み状況について報告を行うとともに、前田設備課長から本年度の事業概要について説明があり、相互理解を深めました。

また、両協会から、7項目にわたる要望や質問が出され、これに対して県の考え方が示されました。行政懇談会の開催状況については次のとおりです。

日 時	平成21年7月31日（金） 13時30分～15時20分
場 所	ラッセホール 5階 ハイビスカス
出席者	兵庫県県土整備部 県土企画局長 竹 本 明 正 住宅建築局長 川 端 宏 幸 県土企画局契約管理課長 奥 野 豊 契約管理副課長 森 川 敏 嗣 契約管理課入札制度係長 堀 内 秀 樹 総務課建設業室長 田 中 芳 和 課長補佐兼建設業係長 丸 山 一 徳 住宅建築局設備課長 前 田 友 樹

設備副課長兼管理係長

覺 野 和 貴

設備副課長（技術担当）

大 川 清 嗣

主任技術専門員（電気）

佐 藤 公 明

主任技術専門員（機械）

長 尾 元 嗣

技術専門員（電気）

鬼 丸 学

技術専門員（機械）

河 邊 利 廣

管理係主査 清 水 正 雄



藤井会長説明

社団法人兵庫県空調衛生工業協会

神田 武 会長 ほか 9 名

社団法人兵庫県電業協会

会 長 藤 井 宏 明

副 会 長 河 野 賢 三

副 会 長 平 井 伸 幸

副 会 長 西 村 善 明

常任理事（総務委員長）

大 川 康太郎

常任理事（技術・安全委員長）

山 口 節 夫

常任理事（経営委員長）

小 山 恵 生

常任理事（公益法人制度改革特別委員長）

寺 坂 睦 博

常任理事 山 崎 英 彦

専務理事 植 原 利 幸



竹本局長挨拶

○ 開会あいさつ

竹本 明正 県土企画局長

両協会の役員の皆様にはお忙しい中行政懇談会にご参加いただきありがとうございます。

さて、経済雇用情勢は少し明るくなったかなという風な状況もありますが、まだまだ厳しいものがございます。有効求人倍率も更に低下するなど厳しい状況の中で、皆様方には本県経済雇用の推進という重要な役割を担っていただいているとの認識をしており、私どもとしてできることはやっていこうという観点で進めております。

1つには、当初予算に加えまして、5月に臨時県議会を開催し、全国一大規模な予算を編成いたしました。2点目は、投資事業量を確保した中で、できるだけ早く契約、発注し、工事を完成させるとともに、皆様方の資金需要にも応えられるよう頑張っていこうと今努力しています。併せまして、可能なものは分離、分割発注の形で進めることとしています。3点目は、入札契約制度において、技術・社会貢献評価制度を本年7月から県政に貢献いただいている方に手厚い措置をするという観点で、更に充実させたり、また、最低制限価格の引上げもさせていただいております。

本日は忌憚のないご意見をお聞かせいただき、私どもがどこまでお話できるかということもありますが、有意義な場となりますよう期待しています。

○ 主要事業説明

- (1) 社団法人兵庫県電業協会の事業方針について、藤井会長から説明を行いました。(内容省略)
- (2) 社団法人兵庫県空調衛生工業協会の事業方針について、神田会長から説明を行いました。(内容省略)
- (3) 兵庫県県土整備部住宅建築局設備課事業内容に関して、前田設備課長から「環境に配慮した施設づくり」、「人にやさしい施設づくり」、「災害から暮らしを守る施設づくり」の3つの基本方針、前年度に完成した県立龍野北高校・県立姫路西高校の設備概要及び平成21年度発注見通し工事一覧について説明が行われました。

○ 懇談会議題（意見交換）

1 建設関係公共事業予算の確保について

- (1) 経済雇用対策としての建設関係公共事業の拡大
百年に一度と称される世界的な不況により、官公庁をはじめ民間の設備投資は過去に経験したことのないような落ち込みを見せております。

こうした中、県におかれては、国の第1次補正予算に関連する補正予算を編成し、経済雇用対策を講じていただいておりますこと心強く感謝申し上げます。

しかしながら、この世界規模の不況から脱却し、兵庫の経済をV字型回復軌道に乗せることにより、県民の雇用や生活不安を払拭させるためには、継続的な社会資本整備を進めることが、最も効果的な経済対策であると考えられ、多くの県民が期待しているところであります。

つきましては、議決された予算につきましては早期発注いただきますとともに、県の財政状況は非常に厳しいことは承知していますが、地域の安全と安心の社会づくりのため再度の補正予算、更には平成22年度予算において、建設関係公共事業の拡大を図られようお願いします。

回答

このたびの5月補正については、国の補正予算に

よる「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、高校校舎をはじめとする県有施設の耐震化の推進、社会教育・文化施設の改修、県有施設の省エネ化改修事業、太陽光発電導入事業などの措置が行われました。

設備課としては、当初予算と併せ、切れ目のない発注を目指し、早期設計、早期発注に努めているところです。

22年度予算につきましては、施設を有する原課が予算要求するところでありますが、設備課といたしましては、新行革プランの推進と、「つくる」から「つかう」の視点を基本に、有利な財源の活用に努めながら、県民の安全・安心に向け、必要な事業を着実に推進して参ります。

(2) 先導的公共工事予算の確保について

新型インフルエンザの発生と蔓延は、県民生活に大きな不安をもたらしましたが、秋から冬にかけて再流行が心配され、設備関係について今回の対策に加えて新たな対策を考える必要があるように思われます。特に、発熱外来患者のための整備や学校施設（保健室）などの待機場所での蔓延を防ぐ空調設備の設置などについて、設備業の専門的技術能力やノウハウを活かした施設整備が役立つものと考えています。

新型インフルエンザの蔓延を防ぐ空調設備の設置など特殊施設整備を先導的かつ積極的に進めていただき、安全・安心な県民生活が確保できるようご検討願います。

また、検査体制施設など特殊設備の空調工事についても、危機管理として工事予算が確保されるようご配慮願います。

回答

疾病対策課の方へ照会したところ、「本年の5月補正予算において、発熱外来対応を行っている感染症指定医療機関等の医療体制の強化を支援するために、簡易陰圧装置等、発熱外来対応への整備を行った医療機関に対する助成制度を新設している。また、新型インフルエンザの検査体制の充実のため、本年度当初予算において検査機器(リアルタイムPCR)

を1台増設することとしています。設備の空調工事については必要に応じ今後検討していきます。」との回答を得ております。

県立高校の空調については、一部を除き、中央空調をとらずに個別空調方法を採用しています。各教室・保健室は換気扇等による第3種換気を行っているため、空調設備を介しての新型インフルエンザの蔓延の可能性は低いと考えられます。また新型インフルエンザ等の保菌疑惑のある生徒を長時間保健室に滞留させることには問題が多々あり、早急に医療機関等に移送を行うべきものと考えています。

2 総合評価型入札制度の導入について

公共工事の発注において、価格のみの競争であった方式から、技術能力、価格や品質を総合的に評価し、受注者を選定する入札方式が取り入れられ始めています。

国土交通省や他府県でも既に導入されておりますし、兵庫県でも土木分野では導入され、兵庫県建設業協会は講師を迎え研修会も行われたやに伺っております。

我々建設業自身も入札価格のほかに自社の技術提案や工事成績等で競うこととなりますが、技術提案能力の向上、保有技術の伝承といった健全な競争参画が可能となる方式ではないかと思われます。

特に他府県の導入を見ると、地域貢献度として防災協定締結の有無、地域信頼性などの加算があり、協会員ならではの総合的評価が得られております。本県においても、設備部門の導入について、ご検討される予定はありませんか。

回 答

総合評価型入札制度につきましては、土木工事を中心に積極的に取り組んでおり、建築工事でも試験的に取り組んでいるところです。

設備工事においては、総合評価入札制度の試験的導入を平成19年度に行ったところです。

設備工事は、各種メーカーが規格に基づいて製作した材料や機器を組み合わせで発注図面で要求された機能・性能を実現させる工事であります。その結果を総括すると、材料の種別、施工方法、施工基準、

機器性能等は共通仕様書並びに発注図面で規定されており、技術的提案や創意工夫の余地が少なく、ややもすると提案内容が画一化される傾向にあります。

また、仮設工事や工事工程は、建築工事業者に委ねられており、設備工事業者での工夫の余地は少ないと考えております。

一方、提案や創意工夫が採用されれば、それらを詳細に履行確認資料として作成し、施工記録として報告しなければならず現場では手間暇がかかり、受注業者の負担が大きいと判断しました。

これらのことから、設備工事でこの制度を導入するにあたりましては、受注業者の地域貢献度を考慮することも含めまして、これからの課題であると考えています。

3 技術・社会貢献評価点について

(1) 社会貢献活動の評価の底上げについて

昨年度から電気・設備事業に係る公募型及び制限付一般競争入札の参加要件として技術・社会貢献活動評価点設定を導入いただき、協会活動を推進する上で大きな励みになっています。

しかしながら、技術・社会貢献活動評価点の内容を見てみますと、今回の改正により、技術点に比べて社会貢献活動の評価点のウェイトが結果的に低下しているように思います。社会貢献活動の評価点を相対的に底上げしていただきますようお願いします。

回 答

県においては、建設企業の健全な発展のため、企業の技術力と社会貢献活動を適切に評価する技術・社会貢献評価制度を導入してきました。

本年7月、経営事項審査点数に対する技術・社会貢献評価点数の割合を引き上げましたが、引き上げにあたっては、工事成績を中心とした技術力にウェイトを置きつつ、社会性を評価する項目をバランスよく盛り込み、全体を引き上げたものです。

なお、技術・社会貢献評価点数における地域貢献・社会性評価に関する評価の割合は40%を超えており、他の都道府県に比べても高い割合を占めています。

(2) 参画と協働のもとに官民が一体となって取り組む事業の評価について

兵庫県は「参画と協働」を提唱され、官民上げて地域社会で様々な活動を進められていますが、「参画と協働」はいい言葉であり、これなくして行政改革は進展しないし、官と民が一体となって一つのことをやっていくことは重要であり、大きなテーマだと考えています。

こうした中、「ひょうごエコフェスティバル2008」、「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」、「ひょうご安全の日のつどい」といった催しに会員企業等が参画し、駐車場整理、チラシ配布といった業務にあたり、催しの成功に少なからず寄与しているのではないかと考えています。

しかしながら、現状ではこれらの参加者に対して技術・社会貢献活動評価はされておられません。もとより点数があるから社会貢献活動を行うものではありませんが、評価がある方がこうした活動がより進んでいくものと考えます。

これらの実情をご覧察いただき、県当局主催のものでなくとも、参画と協働の精神のもとに行っていると思われる活動に対し、技術・社会貢献活動評価の対象にさせていただけないかご検討をお願いします。

(追加) 「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」については、県民局から今年も要請がきているのでよろしくをお願いします。

回 答

こうした県事業への積極的な協力に感謝申し上げます。

技術・社会貢献評価項目の中には「地域づくりのために資する重要な活動」という項目があり、一義的に各地域を所管している県民局から報告された者に加点を行っています。ご要望のような地域活動については、今後県民局とも相談しながら検討していきたいと考えています。

(3) 低炭素社会づくりに向けた電気・設備業の行動に対する評価について

空調衛生工事業と環境問題を考えるとき、例えば、

ビルの運用時の消費エネルギー分布では、空調が48パーセントを占めております。さらに現在では家庭におけるCO₂削減が地球温暖化の大きな課題となっている状況の中で、社団法人日本空調衛生工事業協会では、空調衛生工事業と環境問題を課題として行動計画を策定しており、私たちの協会でも環境配慮活動を進めていきたいと考えています。

それは、我々空調衛生工事業は、地球温暖化防止の低炭素社会づくりの重要な役割を担う専門家集団であり、このたび平成21年6月1日、行政と一体となって、節電、節水、省エネ製品の普及啓発に取り組み、社会的責任を果たすべく兵庫県知事と「省エネ製品普及促進及びノンフロン化推進に関する協定」を締結し、会員企業には「省エネ製品普及促進及びノンフロン化推進協定締結事業所」のシールを社内に貼付掲示して、井戸知事からの大きな期待を受けて取り組みを始めました。

そこで、是非、この取り組みを技術・社会貢献の評価をいただきたいと考えており、ご検討お願いいたします。

一方、社団法人兵庫県電業協会においては、これまでから省エネ実証試験を行ったり、省エネ機器・新エネルギーに関する見学会や講習会を開催するなど地球温暖化と環境問題に対する取り組みを行ってききましたが、平成21年度の事業計画では「エコ対策の推進」を新たな事業項目として位置づけ、更なる取組みを検討し、普及発信を行うことにしております。当協会としても県行政と連携しながら進めるほうが効果的であると考えますのでその手法についてご指導願います。そうした中で、低炭素社会づくりが積極的に推進できるよう県と連携する会員企業に対し、技術・社会貢献評価項目として位置づけていただきますようお願いいたします。

回 答

このたびの「省エネ製品普及促進及びノンフロン化推進」にかんする県知事と空調衛生工業協会会長との協定の締結については、感謝申し上げます。この取組と技術・社会貢献の評価との関わりについて、通常の営業行為として行う以外に、どのような活動が行われるのかなど、技術・社会貢献評価制度

との整合性について、今後の検討課題であると考えております。

県行政と連携しながら効果的にエコ対策を進めることに関しては、県は「エコアクション21」、「ISO14001」の取得を推奨しており、技術・社会貢献として評価しているので、これの取得に努力していただきたいと思います。

(4) 神戸市の環境マネジメントシステムの認証の評価について

技術・社会貢献評価項目の中で、「エコアクション21」の認証取得に対する評価をいただき、平成20年7月から加点されるようになりましたことに感謝いたしております。

しかし、神戸市に事業所を置く会員の多くは、このエコアクション21の認証取得が始まる前から、神戸市が実施しております「K.E.M.S」(Kobe Environmental Management System)の認証を受け、今日まで事業所において環境に配慮した取り組みを行ってきております。

エコアクション21と同様に、低炭素社会づくりに向けた取り組みは同じであり、こうした各地域で進められる取り組みが地球温暖化防止につながることでもあり、行政区域を越えて兵庫県においても同様の扱いとして加点していただくことはできないでしょうか。

社団法人兵庫県電業協会では、今年度エコアクション21・関係企業グリーン化プログラムを活用し、このプログラムに参加した会員企業が一齐に認証登録を目指していこうという方針を立て、準備を進めているところであります。この制度では、4回のコンサル費用は無料になるということですが、プログラム参加の全ての企業が認証取得できるようきめ細やかにご指導くださいますようよろしくお願いします。

回 答

エコアクション21ではそれぞれの地域独自の環境マネジメント認証制度との相互認証が検討されており、その状況を見極め、対応を検討してまいります。

(5) 入札参加要件とする技術・社会貢献評価入札区分の変更について

電気・設備業の技術力や社会貢献活動をより一層評価いただき、その健全な育成を図るため、制限付き一般競争入札については、入札区分を現行の5千万円以上という条件をはずし、その全てを対象にさせていただきますようお願いいたします。

回 答

本来、一般競争入札は、競争性の確保のため入札参加要件を極力設定しないことを原則とする制度であるが、企業の技術力や社会貢献状況を評価してその健全な育成を図るという考え方の中で、電気・管工事においては、昨年度から1億円以上の入札において技術・社会貢献評価点数を入札参加要件として設けました。平成21年度からは、技術・社会貢献評価点数の取得が進んでいること等を考慮し、現在のところ5千万円以上に拡充したところです。

4 調査基準価格等の引き上げについて

かねてから要望をいたしておりました建設工事の入札における最低制限価格等を本年4月から引き上げいただきありがとうございます。

しかしながら、この引上げと同時に、国土交通省においては、低入札価格調査基準価格の算定式が改定されたことにより、再び県の調査基準価格と格差が生じています。また、同省及び総務省は低入札価格調査基準価格の見直しなどの措置を速やかに講じるよう地方公共団体に要請しているとの情報も仄聞しております。

つきましては、早期に調査基準価格及び最低制限価格を再度引上げくださるようお願いいたします。

回 答

県においては、本年4月から、建設工事の入札において最低制限価格、低入札価格調査制度における調査基準価格及び調査最低制限価格を引き上げたところであり、また、最低制限価格の適用範囲の拡大もしたところです。

今回の見直しが入札・契約状況等にどのように反映していくのか、その実績を踏まえながら、今後と

も検討を進めていきます。

5 施工実績の弾力的な対応について

公募型一般競争入札及び一般競争入札の公募条件に同種工事の施工実績を設けている場合があり、これは工事の円滑な推進の保証を担保するために設定されているものと考えますが、制度導入の時点で実績のない業者はいくら技術力を有していても未来永劫新規参入できないこととなり、不平等感はぬぐえません。地域によっては、これまでこうした条件に見合う発注が皆無であったところもあります。

つきましては、優秀な技量を有し、まじめに努力している地域の業者に門戸を開放していただくため、民間実績や下請実績を考慮いただくか、管理技術者への講習会を行いテストに合格した事業者は実績を免除・軽減するなど弾力的な対応をご検討くださるようお願いします。

回 答

公募型一般競争入札につきましては、大型工事のため、施工能力を担保させていただくために、施工実績を設けております。但し、この施工実績につきましては、元請けであれば、官公庁ばかりでなく民間実績も施工実績として、入札に参加していただけるようにしております。

なお、制限付き一般競争入札については、施工実績を入札参加資格の要件としておりません。

(追加) ゼネコンの下請の場合、電気・設備とそれ以外では進め方が全然違います。電気・設備は元請から技術的指導を受けることは全くなく、元請と同じ形態で100%任されてやっています。行政も頭を切り替えていただければと思います。

経審の点数があるので、できない仕事まで応募することはありません。チャレンジしたい者に何らかのチャンスをいただけるようお願いします。

回 答

設備工事が特殊であることは十分認識しています。我々も自由な形で参加してもらいたいと考えていますが、大型工事になると客観的に判断できるも

のが必要です。民間の分離発注が進んでいない中、実績をどういう形で確認できるかが悩ましいところです。面積的緩和も含め、客観的に判断していく方法があるのか今後の検討課題と考えているので、今後意見交換させていただきながら検討して参ります。

6 分離発注について

県においては早くから分離発注の推進についてご配慮いただいておりますが、県内市町では遅々として進まない状況にあり、社団法人日本電設工業協会の調べによると、兵庫県の市町は最下位グループに属しています。そして、その要因は市町に設備の専門家がおらず、発注体制が十分でないことが障害になっているものと思われます。

つきましては、市町に対して分離発注がスムーズに採用できるよう各般のご援助、ご指導をお願いします。

回 答

本年4月の国の「経済危機対策」において、ダンピング対策の充実等適正価格での契約を推進、とりわけ地域企業の適切な評価の推進、地域経済・雇用の下支えにもつながる入札契約制度の改善などに取り組むこととされています。また、6月12日閣議決定の「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」において所要の措置が規定されています。これに関する指導文書を、県の契約管理課から、各市町契約担当課に発しており、7月14日の研修会において市町の契約担当課をお願いしているところです。

また、市町振興課では、7月21日付け「公共工事の入札及び契約手続きの改善等について」により、見出しのことや各市町の現状に合わせた分離発注の適切な実施を指導したところであります。

7 兵庫県優秀施工者賞の対象工事について

兵庫県では、毎年度建設現場において優れた技術を持って技術開発、施工の合理化等に貢献した建設技術者を表彰していただいておりますことに感謝しております。

我々協会としても、会員企業の監理技術者、主任技術者として工事施工に実績を挙げている社員を顕

彰していくことの必要性を認識しております。

ところが、近年の公共工事の実績は、特に地方では金額の減少が見られ、一つの基準となっている2千万円以上の工事がほとんどない状況です。

これらの顕彰制度の効果的な推進を図る上からも、この基準となっている工事額を5百万円以上の工事額から表彰対象にさせていただくなどの改正をご検討いただき、優秀な県内技術者の多くが受賞できますようご検討願えませんか。

また、表彰式には、よければ受賞者の家族も出席させていただき、家族ともども受賞を喜ぶことができれば、社員の励みになって、職務の意欲高揚につながると思いますのでご検討願えれば幸いです。

回 答

兵庫県優秀施工者賞は、優れた建設現場の技術者を知事が表彰することにより、「ものづくり」に携わっておられる方の誇りと意欲を増進していただき、能力と資質の向上を図っていただくとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、もって建設業の健全な発展に資することを目的として、建設現場において工事施工に直接従事している監理技術者、主任技術者等の現役の建築技術者、土木技術者で、技術等の優秀な方を表彰の対象としています。

ご要望のありました基準となっている工事額を5百万円以上へということにつきましては、審査委員会において公共工事及び工事受注額の減少を考慮して、選考基準の見直しを検討したいと考えております。

また、表彰式へのご家族の出席につきましても、可能な限りご要望に添えるよう調整を図らせていただきたいと思います。

8 その他

今後人口の減少が予想されるが、これが業界の盛衰にも影響するものと思われます。県も少子化対策に力を入れていただくようお願いいたします。この場で

は相応しい議題でないかもしれないが担当部局にお伝え願います。

○ 川端 宏幸 住宅建築局長 閉会あいさつ

本日は、両協会と情報交換ができ、生の声を聞かせていただき感謝申し上げます。入札・契約制度を中心に話が進んだかと思いますが、皆さん方のご意見をお聞きし、制度改善も道半ばという感がいたします。

大きく分けて3点あったと思いますが、1つは、発注形態そのもので、高校の耐震工事につきましても、できるものは分離・分割発注を行うよう考えています。2点目は、社会貢献評価方法ですが、意見をいただき重要性を認識していますので、引き続き検討をしまいいります。3点目は、技術を生かしたいということが伝わってきました。幹部職員とのミーティングの中で、例えばエコキュート、オール電化、省エネ照明器具の改修とかは、県営施設では進めていますが、公営住宅でも進めてもいいのではないかという話が出ていました。県にも専門職員がいるので認識はしていますが、反映できるかどうかは難しいものの、機会があれば業界からもご提案をいただくなど引き続きご指導いただきますようお願いいたします。



川端局長挨拶

地 区 懇 談 会

会長、副会長など協会役員出席の下、協会を取り巻く環境や運営方針を説明し、会員から直接協会運営に対する意見・要望をいただくと共に、会員間の交流を図るため、地区ごとに懇談の場を設けていますが、今年も3月を中心に、県下各地区で懇談会が開催されました。

事務局から、①協会再生計画の推進状況、②平成21年度の事業計画、③建設工事等に係る入札・契約

制度の改善と社会貢献活動の実施、④公益法人制度改革への対応についてについて説明を行うとともに、来年度の具体的事業実施や懸案事項解決に向けた意見交換を行いました。また、協会の活動及び財政運営を強化するためには、会員の拡充を進めていく必要があることから、地区ごとに増強作戦を検討しました。

それぞれの開催状況は次のとおりです。

地区名	開催日時	開催場所	出 席	出席役員等
神 戸	平成21年 4 月 8 日(水)	協会事務局	38	河野・平井副会長、専務理事
阪 神 南 北	平成21年 3 月13日(金)	尼崎市はなみずき	20	会長、西村副会長、専務理事
東中西播磨	平成21年 3 月12日(木)	姫路商工会議所	39	会長、河野副会長、専務理事
但 馬	平成21年 2 月27日(金)	白菱電気設備(株)会議室	7	会長、専務理事
丹 波	平成21年 3 月19日(木)	丹波技能訓練センター	4	会長、専務理事
県 外	平成21年 3 月24日(火)	協会事務局	4	平井副会長、専務理事



神戸地区懇談会



阪神南北地区懇談会



東中西播磨地区懇談会



但馬地区懇談会



丹波地区懇談会



県外地区懇談会

行政機関への協会活動PR

当協会活動が県民局長や土木事務所長など行政機関に意外に知られていない現状に鑑み、協会幹部や地区会員が各県民局を訪問し、情報交換を行いながら協会活動のPRを行っています。

今回は、平成20年中に訪問できなかった次の4県民局で、昨年に引き続き特に県行政と関連の深い次の項目に焦点を当て、県民局幹部の理解を求めました。

① 県との防災協定の締結に基づく機能復旧対策

業務応援及び災害発生時における提供可能な資機材

② 県管理河川等愛護活動やこども110番の車パトロール事業など社会貢献活動実施状況の報告

③ モデルケースとして始めた但馬まるごと感動市でのボランティア活動の説明及び各地区でのニーズ把握

④ 分離発注が行われていない市町への指導依頼

地区名	訪問日時	県民局対応者	協会側訪問者
北播磨	平成21年 2 月19日14時	中島英三北播磨県民局長 木戸徹社土木副所長	河野・平井副会長、金川常任理事、 専務理事
中播磨	平成21年 3 月 5 日15時	笹倉雅人中播磨県民局長 網谷喜明県土整備部長	会長、小山常任理事、専務理事
西播磨	平成21年 1 月28日11時	岡田泰介西播磨県民局長 竹内和美県土整備部長	会長、河野副会長、小山常任理事、 専務理事
但 馬	平成21年 2 月27日13時30分	谷口進一但馬県民局長 窪田彰県土整備部長	会長、田中理事、専務理事



北播磨県民局



中播磨県民局



西播磨県民局



但馬県民局

永年勤続優良従業員表彰

平成20年度から、会員企業に永年にわたり勤務され、勤務成績良好で他の模範となる者を対象にした永年勤続優良従業員表彰制度を新設しました。

表彰の対象者は、当協会の会員企業の従業員（経営者及びその家族以外の役員を含む。）で次の3つの条件を満たすものとしたしました。

- ① 勤務成績良好で、他の模範と認められる者
- ② 平成20年10月1日現在、満45歳以上で、かつ、会員企業に25年以上継続して勤務する者
- ③ 正社員又は週30時間以上勤務の非常勤の従業員
各会員から推薦のあった候補者を選考委員会及び

理事会で厳正に審査の結果、次の9名を受賞者として決定し、平成21年1月21日（水）第52回通常総会終了後同会場で会長から表彰状と記念品が手渡されました。

（受賞者）

足立勝昭（オーケイ電設㈱）、池上昭（㈱カデックス）、杉村弘（サン電設工業㈱）、山崎博文（庄野電気工事㈱）、木村一夫（難波電話電気工業㈱）、雨堤登（㈱野崎電気工業所）、森速登（野田電気㈱）、竹内辰郎（㈱ハンデン）、村崎孝司（藤井電機㈱）の各氏



技 術 講 習 会

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い会員の技術力のアップを図るため計画的に講習会を開催することとしています。

本年度は(株)日本電設工業協会の人材確保・育成の補助メニューを活用した講習会を2コース、賛助会員のご協力を得て1コースを実施いたしました。

第1回は、「現場管理業務の要点」をテーマに取り上げました。講習会は平成21年7月4日(土)午後1時30分から約3時間、JR姫路駅南すぐの西播地域地場産業振興センター(じばさんビル)601会議室で行い、講師は日電協の会員である(株)きんでん参与技術本部長補佐の角南修平氏にお願いしました。土曜日の午後にもかかわらず、30名の定員に対し、会員企業から42名の参加がありました。

テキストは「電気設備技術者のための現場管理技術ー現場代理人ー」を用意しましたが、別途講師が用意されたパワーポイントを中心に説明が行われました。

講義内容は、①電気設備工事とは何か、②建設業法・電気工事業法の目的及び内容、③電気設備工事における現場管理のポイント、④トラブル事例と対策、⑤電気工事業の将来と役割について説明をいた

だきました。

パワーポイントで、それぞれの重要な項目が要領よく整理されていたため、経験の浅い職員には理解しやすく、また、ベテラン職員には基本からの復習・確認の場となったと思われます。



角南講師講義

第2回は、「電気設備工事・施工計画」をテーマとし、平成21年11月7日(土)午後1時30分から約3時間、兵庫県民会館303号室で開催しました。また、講師は日電協の会員企業である栗原工業(株)大阪本店安全品質環境室品質管理課主任の亀山一久氏が派遣されました。

30名の定員に60数名の申し込みがあり、テーマに対する関心の高さが浮き彫りにされました。

テキストは日電協発行の「電気設備工事施工計画



第1回技術講習会



第2回技術講習会

集成（平成16年6月）」が改訂中のため、講師が用意されたパワーポイントでの説明となりました。

講義内容は、まず総合計画書とはということで、①施工計画書の意義と必要性、②目的、③種類と内容の説明をいただいた後、総合計画書として①一般事項、②仮設計画、③機器搬入計画、④施工管理、⑤安全衛生計画、⑥検査計画、⑦引渡し計画について具体的な解説をいただきました。最後の工種別施工計画書では、①接地極埋設、②スリーブインサート工事、③配管工事、④ケーブルラック工事、⑤配線工事、⑥幹線延線工事、⑦金属線び工事、⑧金属ダクト工事、⑨区画貫通処理、⑩機器取付工事、⑪架空配線工事、⑫地中配線工事について不具合事例の紹介と注意点についてアドバイスを受けました。



亀山講師講義

第3回目は、「太陽光発電システム設備の概要」を内容とした講習会としました。昨今、温室効果ガス排出量のより効果的な削減を実現するため、新エネルギーの開発利用が求められており、中でも太陽



第3回技術講習会



大川副課長説明

光発電システムは公共工事や一般家庭への導入が進んでいます。

本年度になって兵庫県からの工事発注も増加している中、太陽光発電システムの設置はメーカーに依存しなければならない要素もあるものの、電気設備業者として総合的な知識を習得しておく必要があるため、県や賛助会員のご協力を得て開催の運びとなりました。

講習会は、平成21年12月3日（木）午後1時30分から4時30分まで兵庫県民会館福で会員企業から60名の受講者を対象に行われました。

西村副会長の開講挨拶に引き続いて、兵庫県県土整備部設備課の大川清嗣副課長から、①県施設の導入状況など太陽光発電設備の現状、②兵庫県の地球温暖化施策としてのひょうごC o 2削減推進事業の内容、③余剰電力の新たな買取制度など太陽光発電の今後の動向について解説をいただきました。

後半の講習は、因幡電機産業株式会社太陽光発電プロジェクトのメンバーにお願いし、冒頭プロジェクトリーダーの萬隆夫氏から総括的なお話をいただいた後、片山淳一郎氏からは、①出荷量、発電コストなど太陽光発電の現状、②モジュール・システムの種類・特徴・金額・重量・面積、傾斜角度による発電量の違いなど太陽光発電システムの内容、③メーカー・製品ごとの最大出力や重量などモジュールの比較について説明を受けました。

続いてリーダーの橘忍氏から、機器の据付・結線工事の施工手順書について、①準備段階の注意点、②モジュールの取り扱い上の注意点、③陸屋根架台

の施工方法、④盤類の設置方法、⑤配線方法、⑥日射計・気温計の取付方法、⑦配線配管方法、⑧データ収集装置の設置方法について、具体的かつ詳細に解説いただきました。

顧問の中岸茂男氏からは、最近の太陽光発電の傾向として低廉化、大型化、平面化、既製品化、基礎とソーラーの分離発注化が進んでいるとの報告と同社が平成17年度施工した大阪府八尾高等学校太陽光発電設備工事の経験を踏まえ施工上留意すべき事項についての説明がありました。

新政権の重点政策から考えると、太陽光発電はますます普及が進んでいくことが予測され、更にビジネスチャンスが広がっていくとの期待感が持てる講

習会となりました。



萬講師講義

施 設 見 学 会



音羽電機工業・吉田社長の
歓迎挨拶



見学会参加者に挨拶する藤井会長



雷テクノロジーセンター
で雷対策製品の見学

電気設備の関連施設や製造工場などの見学を行い、最新技術情報の習得を図るとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が開催されました。今年は音羽電機工業(株)の雷テクノロジーセンターと日本環境安全事業(株)大阪事業所のPCB廃棄物処理工場の見学を行いました。

平成21年10月22日(木) 8時20分 JR姫路駅南の

バスターミナルを出発し、湊川神社正門前で途中乗車した者及び音羽電機に直接集合した者を合わせた35名がこれらの施設を巡回しました。

午前中は、尼崎市の音羽電機の雷テクノロジーセンターを訪問し、吉田社長の挨拶、DVDで事業の概要を把握した後、2班に分かれ、施設を見学しました。高電圧試験設備、大電流試験設備、複合インパルス試験装置、宅内サージ検証用模擬家屋、振動



長谷川電機工業で説明を聞く参加者



P C B 廃棄物処理施設の一部



利き酒に挑戦する参加者

試験・環境試験装置など雷試験装置について詳しい説明を受け、雷対策の重要性を目のあたりにしました。また、同センター内にある長谷川電機工業(株)では検電器や模擬配電設備を使ったりレーで電気の安全についての学習も行い、雷ミュージアムでは雷対策製品等の展示を見学しました。

今回の見学会は時間的に強行軍であったため、レストラン難波津でのあわただしい昼食を済ませ、午後一番に、大阪市舞洲にあるP C B廃棄物処理工場に向かいました。施設の概要説明、DVDによる全体把握、処理計画の説明の後、こちらも2班に分かれての施設見学となりました。トランスやコンデンサーなどを真空加熱分離法、溶剤洗浄法によりP C Bを取り除く前処理を行い、その後触媒水素化分解

法により、塩酸、ビフェニルなどに分解、無害化される工程を設備や展示物を見ながら説明を受けました。まだ4分の3のP C Bが未処理になっていること、これらは安全・確実に処理され、環境にも影響を与えない対策が取られていることを改めて確認しました。

最後に、西宮市の辰馬本家酒造(株)白鹿工場に立ち寄り、製造過程見学と利き酒を行うとともに、酒ミュージアムに入館、見学会は和やかな雰囲気の中帰路につきました。

帰りの車で行った参加者に対するアンケートでは、スケジュールがきつ過ぎたが、訪問先は概ねよかった、今後も電機メーカー工場などを見学したいとの声が届けられました。

1 級電気工事施工管理技術検定受験対策講習会



1 級学科講習会

施工管理技術検定講習会は、これまで社団法人日本電設工業協会本部の主催で実施していましたが、諸般の事情により平成19年度から同協会支部又は府県の電業協会が主体となって実施することに変更になりました。また、従来からもっと少人数で内容の濃い講習会を希望する声も少なくありませんでした。

そうしたことから、この講習会を当協会主催開催するようになって3年目、潜在受験者が減少したのか会員企業の受講希望者が定員を大きく下回ったこと及び公益社団法人移行のためには会員外に

も講習会受講機会を開放する必要があることから、今回は兵庫県電気工事工業組合会員にも呼びかけを行いました。

講習会は昨年同様、電気設備業者の従業員が参加

しやすい条件整備に留意するほか、講師は引き続き(株)パナソニック電工創研の電材営業研修センターにお願いしました。

開催状況は次のとおりです。

(学科)

講 習 日	内 容	場 所	人 員	講 師
第 1 回	4 月 4 日 (土)	兵庫県中央労働センター 303号	20名	(株)パナソニック電工創研 田中 英二氏 湯川 正氏
第 2 回	4 月 5 日 (日)			
第 3 回	4 月 11 日 (土)			
第 4 回	4 月 18 日 (土)			
第 5 回	4 月 19 日 (日)			
第 6 回	4 月 26 日 (日)			

(実地)

講 習 日	内 容	場 所	人 員	講 師
第 1 回	9 月 26 日 (土)	神戸市勤労会館 403号	15名	(株)パナソニック電工創研 田中 英二氏 湯川 正氏
第 2 回	10 月 3 日 (土)			

講義はいずれも午前 9 時から午後 5 時まで



1 級実地講習会



田中講師講義

安全衛生推進大会



藤井会長挨拶

平成21年7月16日（水）午後2時から兵庫県民会館10階「福」において、平成21年度安全衛生推進大会が会員約110名の参加のもと、盛大に開催されました。

この大会は、会員の安全活動を強力に推進し、会員及び従業員の安全意識の高揚と安全活動の定着を

図るため毎年実施しているものです。

まず建設業殉職者及び当協会関係物故者の冥福を祈り黙祷を捧げた後、藤井宏明会長の挨拶に続いてご来賓の兵庫労働局労働基準部長（代理：家本和宜安全課長）及び兵庫県県土整備部住宅建築局長（代理：前田友樹設備課長）からご祝辞を頂戴しました。

（藤井会長挨拶要旨）

建設業の労働災害による死亡者は、平成11年以降減少傾向にあります。全産業に占める割合は、約3分の1と依然として高率です。また、事故の型別では、墜落・転落が4割と突出しています。そして、我々専門工事業も例外ではありません。

景気は急激に悪化しており、店社の労働災害防止対策の停滞が懸念されますが、重災害が店社の倒産・崩壊に繋がる時代です。本日の安全大会を契機にもう一度身近な機械・工具・設備・作業方法の確認や見直しを行い、全員参加で創意工夫を活かした安全活動を展開し、「安全文化」「安全職場」構築し、また大切に作る職場を実現いたしましょう！



兵庫労働局家本課長挨拶



兵庫県前田課長挨拶

続いて、山口技術・安全委員長から安全衛生優良工事表彰の選考経過について報告があり、表彰式に移りました。表彰は、国・県・市等から直接受注し、平成20年度中に完成した県内の工事で、安全管理体制が確立して有効に運営され、工事期間中無事故・無災害で、かつ、施工技術が優秀なものを対象として、15名の現場代理人に藤井会長から表彰状及び記念品が手渡されました。

引き続き、出席者を代表して株式会社陵南の和田真一さんが安全宣言を行い、西村副会長の閉会のことばで第1部は終了しました。

休憩時間を挟んで開催された第2部の安全講話は、CSP労働安全コンサルタント本郷信夫氏から「生き残る安全の秘策」と題して、アイサワ工業での現場業務20年、安全業務20年の経験で培ったノウハウを元に、危険ゼロ目指すた



表彰状授与

めの重要なポイントをわかりやすく解説いただきました。



(安全講話)

(安全講話レジュメの一部)

災害をストップする決め手！！

- ① 「安全体制の権限と責任」が明確でないと災害はストップしない！
- ② 「安全計画、安全ルール」が確立していないと災害はストップしない！
- ③ 「安全衛生法（規則）」が守れない、守らないと災害はストップしない！
- ④ 「規模にあった安全施工サイクル」が回せないと災害はストップしない！
- ⑤ 「不安全設備、行動」に眼を開き手を打たないと災害はストップしない！
- ⑥ 「傘下の会社が自主自立に」欠けていると災害はストップしない！
- ⑦ 「再発防止」から「未然防止」に転換していないと災害はストップしない！

平成21年度 安全衛生優良工事表彰受賞者名簿

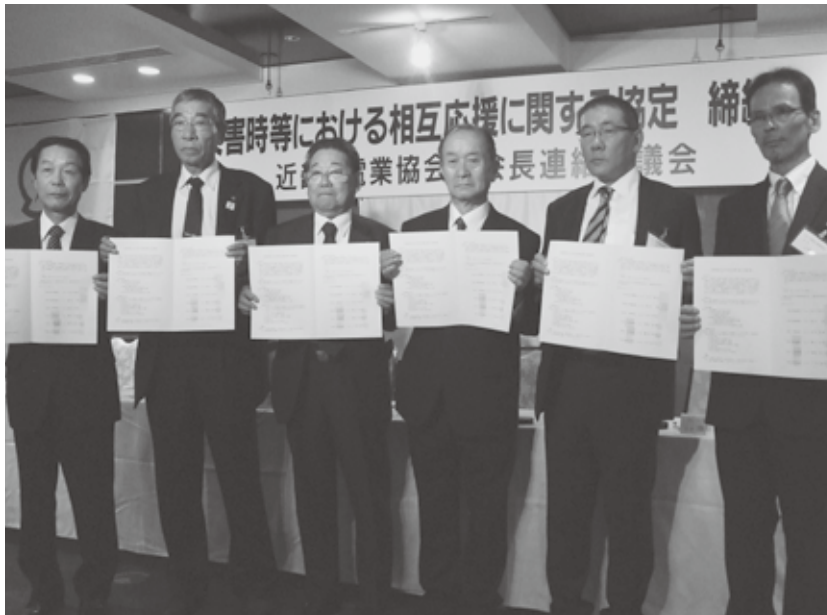
No.	施工会社名	受賞者 (現場代理人)	工事名	発注者名
1	東和電気工事(株)	いちみやまさと 一宮正人	城見台幹線及び城見台準幹線マンホールポンプ(電気)設置工事	姫路市
2	(株) 陵 南	わだしんいち 和田真一	県立がんセンターライフライン確保対策電気設備工事	兵庫県
3	銭屋電機(株)	ずしひでお 厨子秀雄	178号東浜居組道路七坂トンネル照明設備工事	兵庫県
4	野田電気(株)	いけだかずゆき 池田一幸	東灘処理場分場1・2系電灯設備改修工事	神戸市
5	サン電設工業(株)	すぎむらひろむ 杉村弘	板宿駅他幹線・動力盤その他電気設備改修工事	神戸市
6	東洋電気工事(株)	おおにしてつや 大西鉄也	神戸地方裁判所改修設備工事	国土交通省 近畿地方整備局
7	尼崎電機(株)	おかえひろゆき 岡江博之	(一)加古川水系加古川河川監視システム設備設置工事	兵庫県
8	藤井電機(株)	なかしまかずゆき 中島一幸	県立龍野北高等学校太陽光発電設備工事	兵庫県
9	共栄電器工業(株)	すえながひでき 末永秀樹	(仮称)市営明倫住宅新築工事のうち電気設備工事	尼崎市
10	西部電工(株)	やまもとのおふあき 山本信昭	県立龍野北高等学校(仮称)本館棟・A棟その他電気設備工事	兵庫県
11	中島電機(株)	おおつけんご 大津賢吾	姫路市立高浜小学校校舎増築(電気)工事	姫路市
12	寺坂電機(株)	なんばただすけ 難波忠輔	東はりま青少年館耐震補強その他電気設備工事	兵庫県
13	杉本電気工事(株)	にむらかずや 二村一也	神戸大学(楠)総合研究棟(医学系)改修電気設備工事	国立大学法人 神戸大学
14	早水電機工業(株)	くすはらゆうぞう 楠原裕蔵	垂水処理場第3期拡張建設工事(建築電気設備)	神戸市
15	中佐治電工(株)	あだちさとる 足立悟	県立有馬高等学校講義棟電気設備工事	兵庫県

災害対策等緊急体制

近年、世界各地で大型台風や大規模地震等の被害が目立ってきております。今年も台風 9 号による豪雨により県内各地で大きな被害があり、特に朝来市、穴栗市及び佐用町では災害救助法が適用されたところでもあります。自然災害は避けることはできませんが、被害を最小限に抑え、その拡大を防止する減災

が必要と思われます。そこで、平成16年度に改定した災害対策等緊急体制を修正・再確認するとともに、平成21年 1 月16日及び 9 月30日の 2 回、全会員による連絡網の受信・報告の訓練を実施し、有事の際、協会が窓口となって公共的施設の応急復旧ができる体制の確立に取り組みました。

近畿 6 電業協会が災害時等における相互応援協定を締結



調印を終えて協定書を披露する各会長

また、近畿 6 電業協会は、平成21年10月26日（月）午後 2 時から京都タワーホテル 6 階アテネの間において「災害時等における相互応援協定」を締結しました。

近畿の 6 電業協会（兵庫・滋賀・京都・奈良・和歌山・福井）は、各協会間の情報交換及び課題解決のための調査研究を行うため近畿 6 電業協会会長連絡協議会を設置し、定期的に協議を行っていますが、この協議会で「各協会はそれぞれの府県と防災協定を締結しているが、大規模な災害に遭遇した場合にも、十分な対応ができるよう相互に応援できる仕組

みを作っていこう。」との意見一致を見、協議会の下部組織として防災委員会を設け、災害対策の応援体制を検討した結果、協定案がまとまり、本日の協定締結に至ったところです。

まず、本協議会会長である佐伯京都電業協会会長が、主催者挨拶で協定締結を行うに至った趣旨について述べた後、司会者から締結までの経過報告が行われました。引き続き、各会長が協定書の調印を行い、6 協会の会長が並んでこの協定書の披露を行いました。



当日は、兵庫県前田設備課長など4府県から来賓をお招きしており、それぞれからご祝辞をいただき、当協会藤井会長が閉会挨拶で「この協定締結を契機に、更に協会活動の発展を進めていきたい。」と締

めくくりました。

また、その後開催された連絡協議会では、相互応援協定細目（案）が示され、今後防災委員会等で検討することとされました。

こども110番の車パトロール事業

兵庫県は、全国的にも多く、その背景の一つに、地域社会の帰属意識や結びつきが薄れ、不審者が現れた場合などに互いに知らせあうといった地域社会がこれまで培ってきた犯罪防止機能の低下があると見られています。

こうしたことを踏まえ、地域社会を構成する様々な主体が連携を深め、犯罪の防止、その他安全で快適な暮らしを実現するための活動に取り組むことにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会を目指す「地域安全まちづくり条例」が平成18年4月1日に施行されました。

当協会としても、積極的にこの活動に取り組んで

いく必要があるとの認識のもと、特に、近年こどもに対する凶悪又は卑劣な犯罪が多発している現状を考慮して、平成20年3月「こども110番の車」パトロール事業を発足させました。

協会独自でデザインしたステッカーを作成し、会員企業の事業用車輦に貼付してパトロールしていただくもので、現在112社が参加しています。

また、「ひょうご防犯まちづくり推進協議会」にも加入して、行政機関や他団体と協調した運動を展開し、犯罪のない安全で安心な兵庫県の実現に努めています。



暴力団追放対策講習会

近年、暴力団排除機運の高まりと強力な取締り等によって暴力団は社会から孤立しつつありますが、民事介入暴力、金融、不良債権関連事犯等を多数引き起こすなど資金源は依然として活発であり、社会経済情勢の変化に対応して一層多様化、巧妙化の傾向を強め、市民社会特に建設業界においては相変わらず大きな脅威になっています。

こうした中、私ども会員企業においても、これら準構成員等による、あるいは姿を変えてのえせ右翼に加え、NPO・ボランティア団体を標ぼうし、圧力をかけての下請参入などの不当要求に接することも少なくありません。

これらの不当要求に屈しないためには、経営者だけでなく窓口など第一線の職員が、暴力団の現状を知るとともに、対応についてのノウハウを習得しておくことが重要であることから、平成20年度暴力団

追放対策講習会が平成21年2月24日（火）午後2時から会員企業約80名参加のもと兵庫県中央労働センター特別会議室において開催されました。

始めにビデオ「黒い契約者－不当要求を許さない社会へ－」を鑑賞し、不当要求の具体事例を視覚で認識いただいた上で、財団法人暴力団追放兵庫県民センター専任講師の大川清一氏から「暴力団の現状と不当要求に対する対応要領について」と題して講演いただきました。大川講師は県警のOBで、在職中のほとんどを暴力団対策担当の刑事として取り締まりの第一線でご活躍されており、その豊富な経験を通して、山口組の発足以来の実情、下請要求についてのアプローチとゆさぶりの形態、不当要求に対する基本原則、心構え、面談や対応の方法など決め細やかなお話を聞くことができました。



藤井会長あいさつ



大川講師講演

インターンシップの受け入れ

高校生の教育活動の一環として、産業の現場などで学習内容や進路に関連した就業体験を実施し、生徒が目標を持って主体的に進路選択ができるようにするとともに、生徒に夢を実現する力を身につけさせ、電気設備業界の次代を担う人材を育成するため、平成12年度からインターンシップの受入を行っています。

制度をスタートさせて以来10年の節目の年を迎えた本年度は、次のとおり兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気部会長（県立尼崎工業高校長）から依頼のあった5校、44名を会員会社22社で受け入れ、生徒は各社の指導のもと、総務、設計、積算、現場管理、現場作業などの業務を体験しました。

1 県立飾磨工業高等学校 電気工学科

ア 人 員 2年生6名

イ 受入期間 平成21年7月21日（火）～
23日（木）の3日間

ウ 受入説明会 平成20年7月9日（木）
西部電工株式会社社会議室

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
中央電工株式会社	井上 拓土、栗林 弥寿
播州電業株式会社	三上 雄輝、小嶋 貴仁
姫高電機株式会社	柴田 裕矢、本田 裕紀
3社	6名



オ 生徒の感想

インターンシップを終えてまず思ったことは、学校などで学んだ知識が正直あまり役立たなかったという点です。飾磨工業卒の先輩方のお話、職場の方々のお話を聞かせていただいたとき、それを一番に自分は感じました。たった3年間高校で学んだ程度では社会では通用しないし、実際に現場などに出て働き、勉強しないと社会人にはなれないと、ひしひしと思いました。だからこそ、その社会で働かれている方々の言葉には深みがあり、またとても自分にとって為になることばかりでした。

また電工の仕事は建築業と関わりがあることも初めて知りましたし、CADが電気工事をする上で重要で必要不可欠と聞いたときはびっくりしました。また自分の中の意識が大きく変わりました。この体験をさせていただいた播州電業様にはとても感謝しています。（小嶋貴仁）

2 県立豊岡総合高等学校 電機応用学科

ア 人 員 2年生4名

イ 受入期間 平成21年8月3日（月）～
5日（水）の3日間

ウ 受入説明会 平成21年7月22日（水）
県立豊岡総合高等学校

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
白菱電気設備株式会社	平山 優太、宮部 晃樹
藤井電機株式会社	平井 大樹、安田 良平
2社	4名

オ 生徒の感想

3日間という短い間でしたが、自分自身とてもいい経験をすることができました。

初日の朝礼では、テレビ回線を使ったあいさつをさせていただきとても緊張しました。普段の生活では、なかなか人前で話やあいさつをする

こともないので、このような経験ができてよかったです。

そして初日から現場実習をさせてもらい最初は何をしていたか戸惑いました。「これをして」と言われるまで作業行動できなかったけど、2日、3日と自分からどんどんと質問や行動ができてきてよかったです。3日間現場に行かせてもらい将来自分のやってみたい仕事だったので体験できてよかったです。

この3日間は、自分が仕事をする事の大切さが、わかってよかったです。(安田良平)



3 県立尼崎工業高等学校 電気科

ア 人 員 2年生5名

イ 受入期間 平成21年8月24日(月)～
26日(水)の3日間

ウ 受入説明会 平成21年8月17日(月)
県立尼崎工業高等学校

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
株式会社今井電気商会	橋本 琢
共栄電器工業株式会社	仲尾 貴史、福田 昌也
平尾電工株式会社	浅野 祥平、若生 荘史
3社	5名

オ 生徒の感想

インターンシップ1日目は、市営住宅の見積りの見学をしました。まずコンセントに電球をつないで電気が来ているかを調べました。これを3～4軒回って午前が終わりました。午後はマンションのメンテナンスの手伝いに行きました。道具がたくさんあって運ぶのに苦労しました。



2日目は、工事を行っている現場へ行きました。蛍光灯の組み立ては、量が多くて、とても疲れました。午後はコンセントを取り付けるために電線の皮むきをしました。学校でするのは違って、とてもやりづらかったです。次に蛍光灯を取り付けました。これもむずかしくて、その日には2個しかつけることができませんでした。

3日目も、工事の現場へ行きました。コンセントを取り付ける作業をしました。事業所の方の手本を見て、実際に作業をしても、初めはなかなかうまくいきませんでした。しかし、慣れもあって少しずつうまくなくなっていきました。午後は脚立に乗って電線の皮むきをひたすらやりました。実際の仕事は、予想以上に疲れました。色々の良い体験ができたと思います。(若生荘史)

4 県立龍野北高等学校 電気情報システム科

ア 人 員 2年生9名

イ 受入期間 平成21年8月24日(月)～
26日(水)の3日間

ウ 受入説明会 平成21年8月18日(火)
県立姫路労働会館

エ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
尼崎電機株式会社	堀 哲太、七村 悠太
株式会社北山工商	中原 理斗、山岡 峻
西部電工株式会社	二出川裕紀、藤田 大樹 田口 元英
大拓電気株式会社	岩田 和己、鈴木 友章
4社	9名



オ 生徒の感想

実習に行く前はどのようなことをするのか、会社の雰囲気はどのようなのかまったく分からず、とても不安でしたが、実際に行ってみると雰囲気はアットホームで担当の方は優しい方ばかりで大変安心しました。前半は工場見学や安全の講習を受け、現場での安全の重要性を教えてもらいました。3日目の工事現場では実際の電気工事を行いよい経験になりました。

このインターンシップがなければ実際の電気工事とは、どのようなものか知らずに進路を決めていたと思います。現場に興味を持つこともでき本当によいインターンシップでした。(二出川裕紀、田口元英、藤田大樹)

5 県立兵庫工業高校 電気工学科

ア 人 員 2年生20名

イ 受入期間 平成21年10月28日(水)～
30日(金)の3日間

ウ 事前安全講習会 平成21年10月15日(木)
県立兵庫工業高校

エ 受入説明会 平成21年10月21日(水)
協会事務局

オ 受入企業等

受入会員名	生徒氏名
旭電気工業株式会社	門野 祐樹、木村 康彦
黒住電気工事株式会社	森田 哲司、加藤 雄也
杉本電気工事株式会社	芦田 伸明、坂口 翔希

西部電気建設株式会社	澤村 一登、坪井 隆和
ダイトウ電気工事株式会社	田中 章将、松井 康平
東栄電気株式会社	品脇 涼平、白石 聖也
東洋電気工事株式会社	日向 壮尋、宮本 祥多
株式会社野崎電気工業所	西谷 凌治、琉崎 優也
野田電気株式会社	小川 優、中本 準也
ミナト電気工事(株)	小林 正幸、楮 貴博
10社	20名

カ 生徒の感想

3日間ミナト電気工事株式会社にお世話になりました。今回のインターンシップでは、職場がどんな雰囲気なのかを知るとともに、実際の電気工事がどのようなものなのかを学ぶというのが最大の目標でした。実際インターンシップでは、学校の授業が発展したようなものから学校では絶対に学べないところまでいろいろなことを教えてもらいました。また、現場では普段、壁の中にあるような電線を見せてもらったり、照明器具の取り付け方なども教えてもらいました。

そして、現場に行ってみて一番印象に残ったのが、いろいろな職種の人と話をしていたことでした。家を建てるには、電気屋さんだけでなく大工さんや水道屋さんなどが必要です。そういったいろいろな職種の人ともコミュニケーションをとるのも大事なことなのだと思います。また、学校以上に時間についてはきちんとしていたと感じました。今回のインターンシップで学んだことを今後に生かし、そして進路を決めるときに役立てたいと思います。(楮 貴博)



高校生ものづくりコンテスト審査員の派遣

兵庫県高等学校教育研究会工業部会電気系部会では、毎年工業高校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技能の向上を図るとともに、専門家からの講評や、プロとしての心構えを学び、今後の電気・電子教育の資質の向上を目指すため、「電気系ものづくりコンテスト」を開催しています。

今年度は、次の日程で第8回目の兵庫大会が開催されましたが、当協会では、人材育成事業の一環として、このものづくりコンテストを支援するため、特別審査員を派遣しました。

- 1 開催日時 平成21年7月18日（土）
- 2 開催場所 兵庫県立龍野北高等学校

- 3 大会参加者 14名
- 4 派遣審査員 田中 正実 氏
(西部電気建設(株)工務課長)
澤村 良親 氏(西部電工(株)顧問)
- 5 立会者 小山 恵生 経営委員会委員長
- 6 審査結果（電気工事部門）
優勝 田代 有作 君
(兵庫県立姫路工業高校電気科3年)
準優勝 板井 大尚 君
(兵庫県立小野工業高校電子科3年)
第3位 三木 悟 君
(兵庫県立豊岡総合高校電機応用工学科3年)
(優勝者及び準優勝者は近畿大会に出場)



課題に取り組む生徒たち



競技を見守る特別審査員

経営講演会&県工事検査結果講習会



藤井会長開会挨拶

電気設備業界を取り巻く厳しい環境の中で、会員企業が時代の変化に対応した経営戦略によりこの難局を乗り切るための有益な情報を得ると共に、兵庫県発注の工事を的確に実施する上での留意点等を習得するため、平成21年9月9日（水）午後1時30分から兵庫県民会館の福において会員企業の経営者や幹部職員約70名参加のもと、経営講演会&県工事検査結果講習会を開催しました。

講演会は藤井宏明会長の挨拶の後、第1部はご多用中にもかかわらず快く講演をお引き受けいただいた兵庫県出納局工事検査室の新田友治工事検査専門員から「公共工事の工事検査」についてパワーポイントを使ってお話をいただきました。工事検査の仕組みや検査内容について解説いただいた後、工事成績採点表を使って、工事検査を通じた県の工事施工上の留意点について具体的な説明をいただきました。

公共工事の品質確保が求められ、また工事成績は入札参加要件とされている技術・社会貢献評価点数として更に大きいウェイトを占めるよう改正されたため、参加の会員にとって、説明を受けた内容には十分留意し、これまで以上に優秀な工事成績を残せるよう努力したいと意識づけるいい機会となりました。

第2部は(有)第一コンサルティング・オブ・ビジネス代表取締役の丸山博氏から「激変する経営環境と中小企業の経営対策」と題して講演をいただきました。

戦後、世界に類を見ない成長を遂げた日本、それを支えた政官財の鉄のトライアングル、そのひずみと国民の不信・不満による政権交代、民主党マニフェストと今後の経済などユーモアを交えた熱弁により、わかりやすく解説をいただいた後、当業界でもマーケットが縮小し、選別が予想される中、異業種の成功事例も紹介されながらどう切り抜けていくかのヒントをいただきました。



新田氏の講演



丸山氏の講演

エコアクション21関係企業グリーン化プログラム



西村副会長開会挨拶



吉仲審査人の説明



堀審査人の説明

平成21年9月2日（水）午前10時から午後4時まで神戸市教育会館203においてエコアクション21関係企業グリーン化プログラム全体説明会を開催いたしました。

エコアクション21は、環境に配慮した取り組みを進めながら経営を見直すことで、コストの削減、経営の効率化、取引先の拡大などのメリットがあるとされ、システムの構築・維持の費用がISO14000シリーズと比較すると安価で、中小企業者にも取り組みやすい環境経営システムと位置づけられています。

当協会では、制度の概要について理解をいただくため、昨年11月25日にエコアクション21認証登録（全体説明会の講師陣・敬称略）

等説明会を開催しましたが、事業所独自で取り組もうと決断された会員は少ないことから、当協会が核となってエコアクション21・関係企業グリーン化プログラムを活用し、この制度に参加した企業が一齐に、認証登録を目指していくことにいたしました。この日の全体説明会は、参加申込のあった18社を対象にした最初のプログラムで、協会西村副会長の挨拶の後、エコアクション21地域事務局の大西課長の仕組みについての概要説明に引き続いて、審査人（コンサル）の吉仲氏及び堀氏から、環境経営システムガイドライン、環境活動レポートガイドライン、コンサルティングの進め方等について説明がありました。

区 分	団 体 名	役 職 名	氏 名
エコアクション21 審査人（コンサル）	（財）ひょうご環境創造協会	総務部経営企画室システム管理担当課長	吉仲 裕司
	NPO法人大阪カウンセラー会	E A 2 1 普及委員	堀 勝弘
地域事務局・ひょうごEMS支援センター	（財）ひょうご環境創造協会	環境創造部循環社会推進課長	大西 敏文
		環境創造部循環社会推進課	覺田 健一

その後辞退のあった会員を除き、下記のとおり 3 地域に分かれ、更に 2 ～ 3 社単位に、吉仲・堀の両審査員指導のもと、グループ別コンサルティングが

4 回続けられており、来夏の認証取得に向けた取り組みが進められています。

地 区	開催日	会場	参加会員数
神戸・阪神・淡路	10月2日、11月5日、 12月4日、3月5日	協会事務局	7 社
播磨	10月2日、11月2日、 12月4日、3月5日	東和電気工事(株)会議室	2 社
但馬・丹波	10月13日、11月9日、 12月7日、3月8日	和田山商工会会議室	5 社



グループ別コンサル(神戸会場)

県管理道路河川等公共施設愛護活動

道路や河川などの公共施設は、それぞれの管理者が維持管理を行うことになっていますが、すべてについて完全に実施することは難しいことです。こうした状況を踏まえ、道路や河川は地域で生活する者の共有財産であるという認識を持ち、クリーンで安全しかも快適に利用できるよう公共施設愛護運動が県下各地で展開されています。

当協会においては、公益法人の原点であるボランティア精神に則り、平成20年度から建設業協会の各支部や県民局と連携して県管理道路河川等公共施設愛護活動に取り組んでいます。

本年度も地区担当理事が中心になって建設業協会各支部や県民局土木事務所と調整しながら次のとおり事業を行いました。

地区名	連携建設業協会支部	実施日	場 所 ・ 作 業 内 容	参加会員	参加人員
神戸	西神戸	7月14日	明石川河川敷の草刈・清掃	25	33
阪神南	尼崎	6月3日	武庫川左岸河川敷清掃	9	16
	西宮	6月1日	県道等の清掃	3	4
阪神北	伊丹	6月2日	県道等の清掃	6	12
	宝塚	6月2日	県道等の清掃、除草	1	1
	三田	6月1日	青野ダム河川清掃	2	4
東播磨	明石	6月2日	大蔵海岸公園及び周辺の清掃	3	4
	加印	7月30日	松風公園の草刈、低木の剪定等	13	14
中播磨	姫路	11月17日	外堀川の清掃	3	3
但馬	豊岡	6月9日	クリーン但馬大作戦(ゴミの収集・運搬)	4	5
丹波	篠山	6月1日	篠山河川敷内の清掃	1	1
	丹波	6月5日	県道の清掃・草刈、河川堤防の草刈	3	3
合 計				73	100



神戸地区の活動



但馬地区の活動

ふれあいの祭典・コウノトリ翔る 但馬まるごと感動市への参加



協会PRコーナー

但馬まるごと感動市実行委員会主催の「平成21年度ふれあいの祭典・コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」が平成21年11月14日及び15日の2日間、県立但馬ドームで開催されました。この事業は但馬の地域産業が一体となり様々な資源を活用したツーリズムを推進するため「食・物産」と「観光」をテーマとした新たな集客・交流空間を創造しようと数年前から行われているものです。今年はふれあいの祭典全県イベントと一体的開催となりました。みんなが主役・但馬でつくる「ふれあい感動たから箱」をイベントテーマとし、ステージイベントや出展イベントが華やかに繰り広げられました。ドーム内では、但馬自慢！食と物産のコーナー、但馬体験教室、高等学校工業教育フェアなどの催しが、ドーム外でも、ひょうごエコフェスティバルやひょうご健康ま

つりなど各種の行事が行われ、熱気に包まれていました。

当協会は、昨年度から県民局の要請に基づき、事業推進のボランティア活動に参加しています。今年は会場管理・清掃を担当し、但馬地区の延10名の会員が協会名の入ったスタッフジャンパーを着用して来場者にゴミの分別指導等の作業を行いました。

また、ボランティア参加団体には間口3間、奥行き2間のPR用ブースが用意され、当協会では井上(株)及び三菱電機(株)の協力により、太陽光発電、地上デジタル放送のPR、IHクッキングヒーター（実演）やパンフレット配布を行いました。

当協会のPRとしては、昨年度作成した協会の幟旗を設置し、パンフレットや広告用ポケットティッシュを配付し、活動内容の周知を図りました。



ステージで「紙ふうせん」とともに「ふるさと兵庫」の大合唱



協会会員によるゴミの分別指導



大人気の但馬牛の丸焼き

青年部会のページ

1 第11回総会

本年度総会は、平成21年4月22日（水）15：30～16：30、神戸市勤労会館308号室にて開催され、議事についても満場異議無く、青年部会会則第10条第3項により可決されました。
詳細は以下の通りです。

会 員 総 数：33名

出席会員数：29名（うち書面委任7名）

来賓出席者：＜協会＞ 藤井会長

＜新聞社＞ 3名

議 事：第1号議案 平成20年度事業報告の件
第2号議案 平成20年度収支決算の件
第3号議案 平成21年度事業計画の件
第4号議案 平成21年度収支予算の件

2 平成21年度組織構成及び委員会配属

平成21年度の委員会配属は以下の通りとなりました。

部 会 長	副 会 長	委 員 会	委 員 長	副委員長
今井 良和 (今井電気商会)	藤井 洋平 (藤井電機)	事 業 委 員 会	前田 賢則 (船木電気工業)	中井 光雄 (神鋼E N & M)
	池田 佳隆 (サン電設工業)	総 務 委 員 会	田谷 浩明 (エイデン)	橋本 寛士 (甲南電設工業)
	岡田 亮一 (岡田電工)	渉外交流 委 員 会	高橋 良之 (陵南)	松尾 新二郎 (松尾電設工業)

※監査役 平井 正博（ミナト電気工事）、植原 利幸（電業協会専務理事）

3 ボランティア活動報告

～兵庫県立こばと聴覚特別支援学校～

平成21年7月19日に青年部会の活動計画の一環であります、兵庫県立こばと聴覚特別支援学校の『夏

のつどい』開催におけるボランティア活動を行いました。

この活動も青年部会として、9年連続で参加させていただいている活動であり、当日の打合せのなかでは、校長様、教頭様も毎年、警備をして頂いて大変に心強く感じており、感謝しております。とのお言葉を頂きました。

『夏のつどい』とは、こばと聾学校の夏の行事で、在校生および卒業生を呼んだ夏のお祭りであります。

当日は晴天の中、多くの在校生、卒業生、父兄の方々が参加されておりました。活動内容としましては、来場者の車誘導補助開催中の会場警備などを行い、お祭りもスムーズな進行ができ、無事に終了することが出来ました。

毎年のことながら、卒業生による和太鼓、先生方や女子大生ボランティアによるゲームや売店など、



来場者の誘導状況

楽しい催しが開催され多くの笑顔がありました。このボランティア事業に参加した者も、非常に、明るく楽しくできました。

最後には、教頭様より父兄及び生徒の前で、兵庫県電業協会青年部会の紹介と警備ボランティアのお礼を述べて頂き、兵庫県電業協会青年部会の知名度の向上と、日頃からご愛顧いただいている県民ならびに県施設等への貢献としましては、この活動は充分に意義があると思います。参加された皆様、本当にご苦勞様でした。



4 インターンシップ事前安全講習会報告 ～兵庫県立兵庫工業高等学校～

平成21年10月15日に青年部会の活動計画の一環であります、兵庫県立兵庫工業高等学校にてインターンシップ事前安全講習会を行いました。

本題の活動内容ですが、当日に学校側との打合せを行い、講習内容、時間割などの内容確認を行いました。その後、兵庫県立工業高等学校やまなみ会館



にて13：20より、生徒数37名を対象にインターンシップ事前安全講習会が開会されました。

開会にあたり、吉田学校長より挨拶、吉井学科長より講習会の趣旨説明、講師の紹介、また生徒代表による挨拶がありました。

講習会では、小山常任理事の挨拶の後、電気工事業についてビデオ上映をし、今井部会長より説明がありました。電気工事業について、営業や設計、見積等も同じ電設業であること、また竣工、引渡後もアフターサービス、メンテナンス等も行うといったことを話し、お客様あつての電気工事であること、それに対する挨拶の重要性を説明しました。

休憩を挟んだ後、現場作業にかかわる安全事項等についてのビデオ上映をしました。現場での事故につながる要因ごとに、それに対する対策が挙げられていました。ビデオ上映後は秋山総務委員より、インターンシップ前の安全講習が行われました。作業中の服装や、安全帯の種類、使い方の説明を行いました。

に対しての達成感や逆に挫折しそうなことがあるか等、安全に関する以外の質問もありました。

閉会の挨拶では、司会進行をされていた坂上先生からインターンシップ事前安全講習会のお礼を述べて頂きました。また、最後には恒例の記念撮影を先生方、ならびに生徒達とともに行いました。

吉田学校長、吉井学科長ならびに坂上先生よりお礼のお言葉をいただきました。これからも青年部会の事業として、さらに内容を充実させていきたいと思っています。

5 兵庫県県土整備部住宅建築局設備課との懇親座談会

平成21年10月8日（木）14時より、ラッセホールにおいて、毎年恒例になっている兵庫県県土整備部住宅建築局設備課と青年部会との懇親座談会が開催されました。

県設備課からは、前田課長、大川副課長、電気1係 井上係長、電気1係担当 谷氏、電気2係村山主査、電気2係担当 松本氏、電気3係 小嶋主査、電気3係 西本主任にお越し頂き青年部会からは16名が参加、計24名での開催となりました。

今井部会長の挨拶の後、第一部では精神保健福祉士の藤田先生より講演をしていただきました。テーマは「人生を楽しく過ごすコツ」ということで、内容的には近年、増加傾向にあるうつ病の話や心のケア等、他にも家族やお酒に関することをユーモアをまじえて講演をして頂き大変楽しく勉強になりました。その後の質疑応答でも多くの質問が出て、藤田

先生から丁寧にお答えをいただきました。

休憩の後の第2部では、4つのグループに分かれ、第1部の講演を聞いたうえで話し合うスタイルがとられ、活発な意見交換が行われました。講演が心に関する事だったので、仕事上の悩みや家族、夫婦の事などの話がでていました。藤田先生も各グループを廻りながら座談会に加わりもりあげて頂きました。

座談会のあと各グループ毎に、まとめの発表をして頂きました。各グループ共、参加者全員が楽しく話をされていたのが、とても印象的でした。

最後に藤田先生の総評、岡田副会長の閉会の挨拶で会は無事終了となりました。午後の忙しい時間からの開始にも関わらず、設備課の皆様、青年部会の皆様には、沢山お集まり頂き本当にありがとうございました。

今後も青年部会の恒例事業として、更に内容を充実、発展させ、続けて行きたいと思います。



部会長より開会の挨拶



第1部で講演をして頂いた藤田先生



青年部会からは16名が参加



第2部ではグループ毎に意見交換を実施

6 青年部会会員募集！

平成10年の発足以来、青年部会では、さまざまな勉強会、講演会の実施や行政との意見交換等、直接仕事に関係する事業のほか、ボランティア活動や懇親会等、さまざまな活動を行っています。

現在、協会加盟社の中から33名が青年部会にご参加いただいています。未加入の会社の皆様におかれましては、ぜひ、若い世代の青年部会への参加をご検討いただけますよう、宜しく願いいたします。入会に関するお問い合わせは、協会事務局までお願いいたします。

7 委員会活動報告

青年部会での事業を実施するにあたって、それぞれ担当の各委員会で企画から具体的な実施計画まで検討しています。平成21年度（12月迄）に開催された委員会は以下の通りです。

運営委員会	7回	青年部会全体の活動方針、及び各事業の検討
総務委員会	2回	総会の実施、旅費規程管理等
事業委員会	3回	ボランティア事業、研修事業の企画、検討
渉外交流委員会	2回	懇親座談会、会員事業の企画、検討

新生のじぎく会だより

第5回大会では、県内屈指のゴルフ場でもある「東広野ゴルフ倶楽部」で開催することが出来ました。難関コースだけあって、ゴルフの達人の皆さんも苦勞されたようで、スコアが全般的に高い結果になりました。しかしながら、醸し出される雰囲気・コースともに最高でした。

第6回大会は絶好のゴルフ日和の中、新入会員の皆様にもたくさん参加して頂き、終始和やかな雰囲気

気で楽しい一日になりました。コースコンディションも上々で、早いグリーンに惑わされ、3パット続出！ゴルフの力量に意気消沈したメンバーも・・・。

次回、第7回大会は下記の予定になっています。ご参加をお待ちしております。

- ・日時：平成22年4月13日（火）
- ・場所：有馬ロイヤルゴルフ倶楽部

第5・6回のじぎく会成績結果

回数	開催月日	成績 (ダブルペリア方式)
	開催場所	
第5回	平成21年4月21日（火）	1位 山崎 信彦（栄興電機工業）
	東広野ゴルフ倶楽部	2位 河戸 克己（田辺電気） 3位 松永 浩（大日電機）
第6回	平成21年10月27日（火）	1位 谷 裕夫（谷電気）
	高室池ゴルフ倶楽部	2位 藤井 宏明（藤井電機） 3位 吉野 光治（矢野電気工事）



第5回全員集合写真



第6回優勝谷さんと準優勝藤井会長

10 社団法人日本電設工業協会の動き



部会長より開会の挨拶

1 社団法人日本電設工業協会会員大会

平成21年度社団法人日本電設工業協会会員大会が、10月8日（木）高松市で開催されました。大会には全国から350余名が参加し、盛大に催されました。

まず、(株)日本電設工業協会林会長から、「鳩山新政権がスタートし、公共事業の大幅な削減が懸念されるが、内需拡大を柱とした景気対策を引き続き推進するとともに、社会資本整備の着実な推進や地方の経済・産業の活性化に期待したい。協会としては、『適正な価格・適正な工期での受注の確保』、『優秀な人材の確保・育成』、『分離発注の推進』、『地球環境保全等への貢献』の4点を重点課題として積極的に取り組みを進めてまいりたい。」との挨拶がありました。

続いて、足立敏之国土交通省四国地方整備局長（代理 数信一四国地方整備局宮籍部長）、真鍋武紀香川県知事及び金井甲高松副市長の来賓挨拶の後、林会長が議長に就任し、「総合評価落札方式、課題と今後」

をテーマに長江政策委員会副委員長から、また「中小ローカル会社の今後のビジネスモデル」をテーマに内藤神奈川県電業協会会長から基調報告が行われました。

最後に、本年度の大会決議について次の各項目について専務理事から提案説明が行われ、満場一致で承認され、会員大会は終了しました。

平成21年度会員大会決議

地球環境保全等の社会的貢献と顧客価値の増大・創造を目指し、我々は次のとおり行動することを決意する。

- ① 業界の健全で持続的な発展のため、適正な価格・工期での受注を確保し、施工品質と安全体制を確立しよう
- ② 若者が生きがいを持って活躍でき、生涯を託することが出来る魅力ある電設業界を目指そう
- ③ 省エネルギー対策の強化とともに、地球と人に優しい再生エネルギーの活用を推進しよう
- ④ 対話を通じて顧客ニーズに的確に対応し、電気設備工事の品質と価格の透明性を確保する「分離発注」を協力で推進しよう

大会終了後、宗由貴少林寺グループ総裁から「ありがとう この生命（いのち）ありがとう あなたとの出会い」と題して記念講演があり、その後、会員懇親会が行われて大会は幕を閉じました。

2 2010電設工業展

電気設備機器・資材・工具等の総合展示会である「2010電設工業展」が、平成22年5月26日（水）～28日（金）の3日間にわたり、インテックス大阪4・5号館で開催されることになりました。主催は社団法人日本電設工業協会ですが、当協会もこの展示会に協賛することになっています。

今回のテーマは10月16日の第1回実行委員会で「進めようエコライフ！はぐくもう快適環境！」に決定し、450小間の出展募集を行うこととしました。また、特別催事として製品コンクールや特別講演会など多様な催しが展開されることになっています。



宗 由貴 少林寺グループ総裁の講演

平成22・23年度兵庫県建設工事等に係る 入札参加資格審査申請の基準受付 (兵庫県からのお知らせ)

建設工事、測量・建設コンサルタント等業務の入札参加資格審査申請の基準受付を、次のとおり実施します。

1 電子申請により申請する場合

(1) 受付期間

平成22年1月25日(月) 9時から

平成22年2月12日(金) 17時まで

(2) 申請先

兵庫県のホームページ(<http://web.pref.hyogo.lg.jp>)「トピックス」より「●平成22・23年度兵庫県入札参加資格審査申請の基準受付」→「建設工事、測量・建設コンサルタント等業務」→「電子申請」又は「書面申請」を選択のうえ確認してください。

※なお、システム保守作業等のため、電子申請ができない期間がありますので、事前に兵庫県ホームページ「電子申請」のトップページ等でご確認ください。

(3) 電子申請用申請要領、提出書類等の配付

兵庫県のホームページからダウンロードすることで入手できます。(上記(2)の申請先と同じ順序でアクセスしてください。)

(4) 電子申請に係る添付書類の送付先

- ア 県内業者(県内に本社(店)を有する者)
申請者の所在地を管轄する各県民局総務室財務課(各県民局住所は右記記載のとおり)
- イ 県外業者(県外に本社(店)を有する者)
兵庫県県土整備部県土企画局契約管理課
(〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1)

(5) 電子申請に係るヘルプデスク(質問・相談窓口)の開設

「兵庫県工事入札・申請ヘルプデスク」

電話番号 0120-557-864(フリーダイヤル)

受付時間 9時から17時まで(土曜、日曜を除く。)

(6) 電子申請に係るID・パスワードの発行について

新規申請の方は、下記によりID・パスワード発行手続きを行ってください。

平成16年度以降のいずれかの兵庫県入札参加資格者名簿に登録のある方については、入札参加資格の登録状況をお知らせしているハガキ等に記載のID・パスワードを使用してください。

ア ID・パスワード申請書の配付

兵庫県のホームページからダウンロードすることで入手できます。(左記(2)の申請先と同じ順序でアクセスしてください。)

イ 申請方法

申請書及び添付書類を兵庫県県土整備部県土企画局契約管理課あてに郵送してください。

ウ 申請期間

平成22年1月8日(金)から平成22年1月18日(月)まで(必着)

[各県民局住所]

神戸県民局総務室財務課

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6-1-1

阪神南県民局総務室財務課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

阪神北県民局総務室財務課

〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15

東播磨県民局総務室財務課
〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97
- 1

北播磨県民局総務室財務課
〒673-1431 加東市社字西柿1075- 2

中播磨県民局総務室財務課
〒670-0947 姫路市北条 1 - 98

西播磨県民局総務室財務課
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2 - 25

但馬県民局総務室財務第 1 課
〒668-0025 豊岡市幸町 7 - 11

丹波県民局総務室財務課
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688

淡路県民局総務室財務課
〒656-0021 洲本市塩屋 2 - 4 - 5

- く。)
- (2) 受付場所
- ア 県内業者（県内に本社（店）を有する者）
申請者の所在地を管轄する各県民局（電子申請用申請要領又は書面申請用申請要領をご覧ください。）
- イ 県外業者（県外に本社（店）を有する者）
兵庫県中央労働センター301会議室
（神戸市中央区下山手通 6 - 3 - 28）
ただし、平成22年 2 月 2 日（火）は、兵庫県庁西館 1 階大入札室（神戸市中央区下山手通 5 - 10 - 1）
- (3) 書面申請用申請要領、提出書類の配付
兵庫県のホームページからダウンロード
ダウンロード方法：電子申請用申請要領と同じ

2 書面申請により申請する場合

- (1) 受付期間
平成22年 2 月 1 日（月）から平成22年 2 月 15 日（月）まで（土曜、日曜及び祝日を除く。）
各日10時から16時まで（12時から13時30分を除

- 3 問い合わせ先
県土整備部県土企画局契約管理課078-341-7711
（内線4334、4348）

兵庫県の入札・契約制度の改正

平成20年 7 月から兵庫県では企業の技術力や社会貢献状況を一層適正に評価し、健全な育成を図るため技術・社会貢献評価点が入札参加要件となりました。当協会では、社会貢献活動を協会活動の柱の 1 つとして取り組んでいます、これらの活動を行う

会員にとって励みになり、ひいては協会の求心力に繋がるようこの制度の充実について要望活動を行ってきました。平成21年度からは、入札・契約制度が次のとおり改正になりました。詳細は兵庫県のホームページをご覧ください。

1 入札参加要件とする技術・社会貢献評価点数の引上げ（平成21年 7 月改正）

- (1) 入札参加要件
公募型一般競争入札及び制限付き一般競争入札については、資格格付や施工実績のほか技術・社会貢献評価点数が必要ですが、電気工事については次のとおり引き上げられました。

区 分	契約予定金額	改正前の必要評価点数	改正後の必要評価点数
公募型一般競争入札	2.5億円～	10点	30点
制限付き一般競争入札	1 億円～2.5億円	8点	25点
	5 千万円～ 1 億円	0点	10点

(2) 評価点数

項 目	要 件		評価点数
1 障害者雇用	法定雇用率達成		40点
	報告義務はないが雇用		20点
	法定雇用率未達成	達成率 2 / 3 以上	24点
		達成率 1 / 3 以上	16点
		達成率 1 / 3 未満	8点
2 I S O 認証取得	9 0 0 0 シリーズ		16点
	1 4 0 0 0 シリーズ		16点
3 エコアクション 2 1 認証取得（上記 1 4 0 0 0 との重複加点なし）			8点
4 各種賞受賞	さわやかな県土づくり賞		16点
	人間サイズのまちづくり賞		8点
	県優秀施工者賞		4点
	建設雇用改善優良事業所知事表彰		8点
	納税功労者表彰		4点
	ひょうご経営革新賞		6点
5 県との協定締結	男女共同参画社会づくり協定		8点
	子育て応援協定		8点
6 V E 提案・採用	1 件8点、上限48点		
7 社会貢献活動	災害応急対策業務協定締結		12点
	上記協定に基づく出動		16点
	地域づくりのために資する重要な活動		8点
	県管理道路河川等公共施設の愛護活動		6点
	県の関係事業に対する支援		6点
	工業高校生の就業体験事業への協力		8点
	地域安全まちづくり活動		6点
	建設労働災害防止活動		6点
	建設業暴力追放活動		6点
8 資格制限	入札参加者資格制限を受けた場合		－16点
9 指名停止	6 月以上の指名停止を受けた場合		－16点
10 工事成績	平均工事成績点		120点～ －40点

(注) 要約して掲載しているため兵庫県ホームページで確認してください。

2 最低制限価格等の引上げ（平成21年 4 月改正）

公共工事の品質確保等への悪影響が懸念されるような応札実態を踏まえ、最低制限価格等が引き上げられるとともに、低入札価格調査の対象工事価格が引き上げられるなどの改善が図られました。

受賞おめでとうございます。

河野賢三副会長が平成21年春の黄綬褒章受章

永年にわたり電気工事業に従事し業務に精励するとともに、多年にわたる電気工事業界の振興発展に貢献された功績により、平成21年4月29日付けで黄綬褒章を受章され、伝達式が5月18日（月）国土交通省会議室で、天皇陛下への拝謁が皇居で行われました。



河 野 賢 三 氏

社団法人兵庫県電業協会副会長
株式会社カデックス代表取締役



平井伸幸副会長が平成21年度兵庫県功労者表彰受賞

永年にわたる電気工事業界の振興発展に貢献された功績により、平成21年5月3日付けで兵庫県功労者表彰（まちづくり功労）を受けられ、表彰式が6月2日（火）、県公館で執り行われました。



平 井 伸 幸 氏

社団法人兵庫県電業協会副会長
ミナト電気工事株式会社代表取締役社長

会 務 日 誌

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
1 / 5 (月)	新年合同祝賀会	神 戸 国 際 展 示 場	会 長
1 / 7 (水)	※県幹部への新年挨拶	兵 庫 県 庁	正副会長、専務理事
1 / 14 (水)	※総会打合せ会	協 会 事 務 局	正副会長、正副総務委員長
1 / 15 (木)	空衛協会新年交礼会	Hオ ー ク ラ 神 戸	会長、河野副会長、専務理事
1 / 16 (金)	※災害対策緊急連絡網伝達訓練	協 会 事 務 局	会 員
1 / 16 (金)	日電協関西支部賀詞交歓会	シェラトン都H大阪	西村副会長、山口常任理事
1 / 17 (土)	兵庫県安全の日のつどい	H A T 神 戸	技術・安全委員長
1 / 21 (水)	※第52回通常総会・新年名刺交換会	生 田 神 社 会 館	会 員
1 / 28 (水)	※県民局長訪問	西 播 磨 県 民 局	会長、河野副会長、小山常任理事、専務理事
2 / 3 (火)	※第1回公益法人制度改革PT作業会議	協 会 事 務 局	チーム構成員
2 / 3 (火)	近畿6電業協会会長連絡協議会	京 都	会 長
2 / 4 (水)	※兵庫県県土整備部要望	県 庁	会長、河野・平井副会長、専務理事
2 / 4 (水)	※第7回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
2 / 6 (金)	※公益法人制度改革公認会計士相談	協 会 事 務 局	平井・西村副会長、専務理事
2 / 7 (土)	※第7回理事会	美方郡 井つつや	理 事
2 / 13 (金)	農業参入セミナー	農林水産技術総合センター	会 員
2 / 16 (月)	建設業と地域の元気回復事業等説明会	大阪合同庁舎第1号館別館	経営委員長
2 / 19 (木)	※県民局長訪問	北 播 磨 県 民 局	会長、河野副会長、金川常任理事、専務理事
2 / 20 (金)	※公益法人制度改革公認会計士相談	協 会 事 務 局	平井・西村副会長、専務理事
2 / 24 (火)	※暴力団追放対策講習会	兵庫県中央労働センター	会 員
2 / 25 (水)	新公益法人制度説明会	大 阪 電 業 協 会	専務理事
2 / 27 (金)	※県民局長訪問	但 馬 県 民 局	会長、田中理事、専務理事
2 / 27 (金)	※但馬地区懇談会	白 菱 電 気 設 備 (株)	会長、専務理事、地区会員
3 / 2 (月)	※第8回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
3 / 4 (水)	※第8回理事会	協 会 事 務 局	理 事
3 / 5 (木)	※県民局長訪問	中 播 磨 県 民 局	会長、河野副会長、小山常任理事、専務理事
3 / 10 (火)	事業所等防犯ネットワーク代表者会議	警 察 本 部 会 議 室	専務理事
3 / 12 (木)	※東・中・西播磨地区懇談会	姫 路 商 工 会 議 所	会長、河野副会長、地区会員ほか
3 / 12 (木)	ひょうご・わが家の耐震改修推進協議会	神 戸 市 教 育 会 館	山口技術・安全委員長
3 / 13 (金)	日電協関西支部地区協議会	中 央 電 気 倶 楽 部	西村副会長
3 / 13 (金)	※阪神南・北地区懇談会	は な み ず き	会長、西村副会長、地区会員ほか
3 / 15 (月)	建設業関係団体協議会専務理事・事務局 長連絡会議	兵 庫 建 設 会 館	専務理事

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
3 / 19(木)	※丹波地区懇談会	丹波技術訓練センター	会長、専務理事、地区会員
3 / 24(火)	※県外本店地区懇談会	協 会 事 務 局	平井副会長、専務理事、地区会員
4 / 2(木)	※年度初め県幹部職員への挨拶	兵 庫 県 庁	会長、全副会長、専務理事
4 / 4(土)	※1級学科施工管理技術検定受験対策講習会開講式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
4 / 7(火)	※決算監査	協 会 事 務 局	監事、専務理事
4 / 8(水)	※神戸地区懇談会	協 会 事 務 局	河野・平井副会長、専務理事、地区会員
4 / 9(木)	※第1回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 14(火)	※第1回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 16(木)	※第1回理事会	協 会 事 務 局	理 事
4 / 22(水)	青年部会総会	神戸市勤労会館	会長、専務理事
4 / 22(水)	青年部会総会懇親会	維新號點心茶室	理事、監事
4 / 24(金)	※第1回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
4 / 26(日)	※施工管理技術検定講習会閉講式	中央労働センター	技術・安全委員長、専務理事
4 / 28(火)	※入札契約制度県との意見交換会	県 庁	会長、全副会長、専務理事
5 / 7(木)	建設業と地域が連携した協議会の説明会	県 民 会 館	専務理事
5 / 13(水)	建設業と地域が連携した協議会	県 民 会 館	専務理事
5 / 15(金)	日電協関西支部地区協議会	中央電気倶楽部	会 長
5 / 15(金)	建設業暴力追放協議会定時総会	建 設 会 館	河野副会長
5 / 18(月)	河野副会長褒章伝達式	国土交通省・皇居	河野副会長
5 / 25(月)	※正副会長会	協 会 事 務 局	正副会長、専務理事
5 / 29(金)	公益法人セミナー	大阪産業創造館	専務理事
6 / 2(火)	兵庫県功労者表彰表彰式	県 公 館	平井副会長
6 / 2(火)	※総会打合せ	協会事務局・生田神社会館	正副総務委員長、専務理事
6 / 4(木)	※第2回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 5(金)	※第2回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 9(火)	※第2回理事会	協 会 事 務 局	理 事
6 / 9(火)	※安全衛生表彰選考委員会	協 会 事 務 局	委 員
6 / 11(木)	※空衛協会総会懇親会	Hオークラ神戸	会長、西村副会長、専務理事
6 / 12(金)	※第53回通常総会懇親会	生田神社会館	会 員
6 / 26(金)	建築会会員交流会	東 急 イ ン	専務理事
6 / 29(月)	※河野賢三氏黄綬褒章受章祝賀会	Hオークラ神戸	会長ほか有志
7 / 4(土)	※第1回技術講習会	西播地域地場産業振興センター	会 員
7 / 7(火)	※第2回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
7 / 8(水)	※空衛協会との打合せ	協 会 事 務 局	平井副会長、専務理事
7 / 9(木)	※インターンシップ受入説明会(飾磨工業高校)	西 部 電 工 (株)	経営委員長、受入会員、専務理事

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
7/10(金)	建設業と地域が連携した協議会	ひょうご女性交流館	専務理事
7/14(火)	※第3回理事会	協 会 事 務 局	理事・監事
7/16(木)	※安全衛生推進大会	県 民 会 館 福	会 員
7/18(土)	ものづくりコンテスト県大会	県 立 龍 野 北 高 校	西部電気建設、西部電工、経営委員長
7/21(火)~23(木)	※インターンシップ(飾磨工業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
7/22(水)	※インターンシップ受入説明会(豊岡総合高校)	県立豊岡総合高校	経営委員長、受入会員
7/23(木)	近畿6電業協会防災協定委員会	京 都 タ ワ ー H	技術・安全委員長
7/27(月)	自民党県連政策要望意見交換会	県議会自民党議員団会議室	会長、平井副会長
7/28(火)	近畿6電業協会会長連絡協議会	京 都	会 長
7/31(金)	※県との行政懇談会	ラ ッ セ ホ ー ル	正副会長・専務理事・常任理事
8/3(月)~5(水)	※インターンシップ(豊岡総合高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8/17(月)	※インターンシップ受入説明会(尼崎工業高校)	尼 崎 工 業 高 校	経営委員長、受入会員、専務理事
8/18(火)	※インターンシップ受入説明会(龍野北高校)	姫 路 労 働 会 館	経営委員長、受入会員、専務理事
8/21(金)	住宅リフォーム推進協議会幹事会	神 戸 市 教 育 会 館	専務理事
8/24(月)~26(水)	※インターンシップ(尼崎工業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8/24(月)~26(水)	※インターンシップ(龍野北高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
8/26(水)	※第3回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
9/1(火)	※第3回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
9/2(水)	※エコアクション21・関係企業グリーン化プログラム全体説明会	神 戸 市 教 育 会 館	会 員
9/3(木)	※第2回公益法人制度改革PT作業会議	協 会 事 務 局	チーム構成員
9/8(火)	※第3回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
9/9(水)	※経営講演会&県工事検査説明会	県 民 会 館 福	会 員
9/14(月)	日電協関西支部地区協議会	中 央 電 気 倶 楽 部	西村副会長
9/14(月)	空衛協会30周年記念講演会	私 学 会 館	会 員
9/15(火)	※第4回理事会	協 会 事 務 局	理事・監事
9/26(土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会(1日目)	神 戸 市 教 育 会 館	技術・安全委員長、専務理事、会員
9/29(火)	兵庫県住宅再建共済制度推進会議	県 公 館	専務理事
9/30(水)	※災害対策緊急連絡網伝達訓練	協 会 事 務 局	会 員
10/2(金)	※EA21・関係企業グリーン化プログラム第1回グループ別コンサル(A・B地区)	協 会 事 務 局	神戸・姫路地区会員
10/3(土)	※1級実地電気工事施工管理技術検定受験対策講習会(2日目)	神 戸 市 教 育 会 館	技術・安全委員長、専務理事、会員
10/6(火)	※第1回会報編集委員会	協 会 事 務 局	委 員
10/7(水)	※第3回公益法人制度改革PT作業会議	協 会 事 務 局	チーム構成員
10/8(木)	日電協会員大会	か が わ 国 際 会 議 場	専務理事
10/13(火)	※EA21・関係企業グリーン化プログラム第1回グループ別コンサル(C地区)	和 田 山 商 工 会 館	但馬・丹波地区会員
10/14(水)	地域安全兵庫県民大会	県 公 館	技術・安全委員長

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
10/15(木)	※インターンシップ事前安全講習会	兵 庫 工 業 高 校	経営委員長、青年部会
10/16(金)	2010電設工業展第1回実行委員会	ラ マ ダ H 大 阪	専務理事
10/19(月)	※第5回理事会	協 会 事 務 局	理事・監事
10/21(水)	※インターンシップ受入説明会	協 会 事 務 局	経営副委員長、受入会員
10/22(木)	※施設見学会	音羽電機工業(株)ほか	会 員
10/26(月)	※近畿6電業「災害時等における相互応援に関する協定」締結式	京 都 タ ワ ー H	会長、西村副会長、技術・安全委員長
10/28(水)~30(金)	※インターンシップ(兵庫工業高校)	受 入 会 員 企 業 等	受入会員
11/2(月)	※会報取材	神戸市下水処理場	平井副会長、専務理事
11/6(金)	※E A 2 1・関係企業グリーン化プログラム第2回グループ別コンサル(A B地区)	協会事務局・東和電気工事(株)	神戸・姫路地区会員
11/7(土)	※第2回技術講習会	県 民 会 館	会 員
11/9(月)	※E A 2 1・関係企業グリーン化プログラム第2回グループ別コンサル(C地区)	和 田 山 商 工 会 館	但馬・丹波地区会員
11/9(月)	※第4回経営委員会	協 会 事 務 局	委 員
11/10(火)	※第4回公益法人制度改革P T作業会議	協 会 事 務 局	チーム構成員
11/11(水)	※会報取材	(株)ノヴァエネルギー	平井副会長、専務理事
11/12(木)	※第4回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
11/14(土)~15(日)	ふれあいの祭典・コウノトリ翔る但馬まるごと感動市	但 馬 ド ー ム	地区会員、西村副会長ほか
11/16(月)	※第6回理事会	協 会 事 務 局	理事・監事
11/16(月)	新生兵庫懇談会	ポ ー ト ピ ア H	正副会長、専務理事、常任理事
11/18(水)	建設雇用改善推進対策会議	県 民 会 館	専務理事
11/18(水)	※新公益法人制度個別相談	県 公 益 法 人 室	平井副会長、専務理事
11/18(水)	空衛協会30周年記念式典	H オ ー ク ラ 神 戸	正副会長、専務理事
11/24(火)	原吉三県議会議長就任祝賀会	ポ ー ト ピ ア H	会 長
11/22(土)	※正副会長会	協 会 事 務 局	正副会長、専務理事
11/25(水)	新公益法人制度移行申請のポイントセミナー	東京海上日動第二神港ビル	専務理事
11/25(水)	官庁懇談会(都市整備機構)	都市整備機構西日本支社	会長、平井副会長
11/26(木)	官庁懇談会(近畿地方整備局)	中 央 電 気 俱 楽 部	会長、平井副会長
11/26(木)	※第4回技術・安全委員会	協 会 事 務 局	委 員
11/30(月)	建設業新分野進出支援セミナー	兵 庫 建 設 会 館	会 員
12/1(火)	※第5回総務委員会	協 会 事 務 局	委 員
12/3(水)	※第3回技術講習会	県 民 会 館	会 員
12/4(金)	※E A 2 1・関係企業グリーン化プログラム第3回グループ別コンサル(A B地区)	協 会 事 務 局	神戸・姫路地区会員
12/7(水)	※E A 2 1・関係企業グリーン化プログラム第3回グループ別コンサル(C地区)	和 田 山 商 工 会 館	但馬・丹波地区会員
12/8(月)	※第6回理事会	協 会 事 務 局	理事・監事
12/15(火)	日電協関西支部地区協議員・評議員会議	シ ョ ラ ト ン 都 H	会長、西村副会長
12/18(金)	※空衛協会との打合せ	協 会 事 務 局	正副会長、経営委員長、専務理事

※は当協会主催

会員動向(平成21年中入会会員)

(敬称略)

社 名	代 表 者 名	所 在 地 等
イトデン(株)	伊 藤 敏 夫	〒670-0996 姫路市土山2-13-4 電話 079-292-6247 F A X 079-294-7258
(株)小川電設	小 川 元	〒660-0893 尼崎市西難波町2-19-21 電話 06-6419-7877 F A X 06-6419-8601
コガセ工業(株)	福 居 豊 作	〒657-0864 神戸市灘区新在家南町2-3-15 電話 078-802-2011 F A X 078-802-7001
(株)サンデン	植 村 英 志	〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町7-8-3 電話 078-451-6661 F A X 078-764-6662
(株)シモデン	下 岸 功	〒651-1132 神戸市北区南五葉5-3-3 電話 078-594-2700 F A X 078-594-2622
(株)しんこう	竹 内 秀 夫	〒662-0856 西宮市城ヶ堀町2-22 電話 0798-37-1333 F A X 0798-37-1334
太 昭 電 設 (株)	川 井 昭 爾	〒652-0035 神戸市兵庫区西多聞通1-3-20 電話 078-575-8885 F A X 078-575-8925
大 拓 電 気 (株)	小 林 勝 士	〒671-2221 姫路市青山北3-250-1 電話 079-268-2221 F A X 079-268-2227
(有)高 原 電 工	原 昇	〒651-2146 神戸市西区宮下2-5-10 電話 078-922-0315 F A X 078-922-0315
(株)橋 電 機	橋 勉	〒674-0065 明石市大久保町西島750-2 電話 078-946-0525 F A X 078-947-4617
東京電機工業(株)	諏 訪 芳 一	〒671-1234 姫路市網干区新在家355-2 電話 079-272-0272 F A X 079-274-0272
東和電気工事(株)	三 和 敬 典	〒670-0974 姫路市飯田2-51-1 電話 079-234-1020 F A X 079-234-2920
(株)ニューテック	山 中 隆 夫	〒660-0095 尼崎市大浜町2-12 電話 06-6418-2415 F A X 06-6418-3487
平 尾 電 工 (株)	平 尾 秀 樹	〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-4-9 電話 06-6419-5678 F A X 06-6419-8877
星 野 電 工 (株)	古 志 博 昭	〒657-0037 神戸市灘区備後町2-2-4 電話 078-811-6939 F A X 078-811-9333
本 多 電 気 (株)	本 多 範 幸	〒663-8156 西宮市甲子園網引町8-19 電話 0798-40-3005 F A X 0798-40-3007
松 本 電 工 (株)	松 本 一 郎	〒653-0867 神戸市長田区高東町3-4-13 電話 078-641-7011 F A X 078-641-7015
矢野電気工事(株)	吉 野 光 治	〒654-0024 神戸市須磨区大田町4-2-22 電話 078-731-5357 F A X 078-731-6330
(株)山 富 電 設	山 村 信 介	〒664-0007 伊丹市北野5-6-12 電話 072-783-2991 F A X 072-770-6447
(株)山 日 電 気	庄 治 成 貞	〒651-1421 西宮市山口町上山口1-12-19 電話 078-904-2104 F A X 078-903-2162
吉川電気工業(株)	吉 川 茂 樹	〒662-0951 西宮市川西町15-5 電話 0798-26-6538 F A X 0798-26-3173



“専門性”から“総合力”へ “モノの提供”から“価値の創造”へ 新たなステージへ飛躍する 総合エレクトロニクス商社

4つの事業領域で培った専門性を活かし自由自在に融合するそれが私たち独自の“Fスタイル”です。

次世代住宅 Intelligent House 万全の品揃えと豊富な知識でご提案する、次世代型ホームエレクトロニクス。		都市設備 Urban Facilities 確かな経験と実績に基づくノウハウで、高度ニーズ、大型プロジェクトにも対応。
商業空間 Commercial Space デザインから内装工事まで、総合力で空間プロデュースを実現。		産業技術 Industrial Technology 多彩な技術を熟知した商社だからこそ、「つくる能力」を発揮し新たな価値を創造。

Good
Production

Good
Information

Good
Communication

GOOD PRODUCTION: 「より良い製品」

福西電機グループは、より良い製品をお客様に提供することを通して、豊かな人間社会を築きます。
(この“PRODUCTION”には、「製品」だけでなく「生産」「加工」の意味も込めています)

GOOD INFORMATION: 「より良い情報」

福西電機グループは、より良い情報をお得意様、お取引先様、さまざまな人々に提供することを通して、新しい価値を創造します。
(この“INFORMATION”には、「情報」だけでなく「情報機器・技術」の意味も込めています)

GOOD COMMUNICATION: 「より良い対話」

福西電機グループは、お得意様との、お取引先様との、さまざまな人々との、より良い対話を通して文流を深め、互いの繁栄のために力を尽くします。
(この“COMMUNICATION”には、「対話」だけでなく「通信機器・技術」の意味も込めています)

「The First Choice Company」を目指す

～お得意様から、仕入れ先様から、一書に指名される最も信頼される商社となる～

福西電機株式会社

本社

〒530-8484 大阪市北区与力町7番5号

(代表)TEL 06-6881-2924

FAX 06-6881-2935

URL <http://www.fukunishi.com/>

未来をチェンジするあかり。

三菱LED照明「erise」から、直管蛍光灯器具に置き換え可能なLED直付ベースライン照明がデビュー。器具総合効率81.7lm/W*を実現し、従来磁気式2灯と同等の均一な明るさを確保しながら、42%も省電力。さらに、連続調光を標準装備。ベースライン照明は、LEDの時代へ。三菱電機が、あかりの未来を変えていきます。

*クラス 400 半透明カバー / 200V 点灯時



erise
イライズ
LED直付ベースライン

“ひかり”の進化。
やすらぎのあかりへ。

三菱電機照明株式会社

■クラス 400
半透明カバー
(FLR40×2灯相当)
昼白色相当



ER-L4000NS

■クラス 400
乳白カバー
(FLR40×2灯相当)
昼白色相当



ER-L4001NS

■クラス 200
半透明カバー
(FL20×2灯相当)
昼白色相当

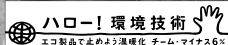


ER-L2000NS

■クラス 200
乳白カバー
(FL20×2灯相当)
昼白色相当



ER-L2001NS



【お問い合わせ先・資料請求】 三菱電機照明株式会社 営業本部 業務企画室 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 Tel. (0467) 41-2729
三菱電機住環境システムズ株式会社 関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-7-8 Tel. (06) 6338-8091

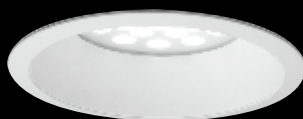
くわしくはホームページで www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf

活躍シーンを広げるラインアップ。



三菱LED照明「erise」、LEDハイパワーダウンライトシリーズに軒下用が新登場。様々な分野にLED照明の活躍シーンがさらに広がります。

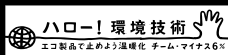
erise
イライズ
LEDハイパワーダウンライトシリーズ



省エネ&長寿命で環境に配慮 (クラス150/FHT32W・白熱灯150W相当)

消費電力比較		光源寿命時間比較		CO ₂ 排出量比較	
33W	省エネ 約47%	約4倍 長寿命	40,000 時間	CO ₂ 排出量 年間約18.1kg 削減	CO ₂ 排出量 年間約20.5kg
17.5W		10,000 時間		CO ₂ 排出量 年間約18.1kg 削減	
コンパクト蛍光灯 32Wダウンライト	LED ダウンライト	コンパクト蛍光灯 32Wダウンライト	LED ダウンライト	コンパクト蛍光灯 32Wダウンライト	LED ダウンライト

*光源維持率70%時(基準) ※CO₂排出係数:0.39-CO₂/kWh
※年間点灯時間3,000時間

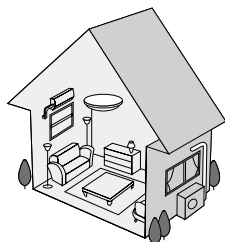


【お問い合わせ先・資料請求】 三菱電機照明株式会社 営業本部 業務企画室 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 Tel. (0467) 41-2729
三菱電機住環境システムズ株式会社 関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-7-8 Tel. (06) 6338-8091

くわしくはホームページで www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf

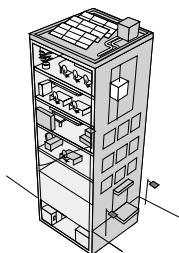
三菱電機照明株式会社

豊かな快適環境を創造する INABA



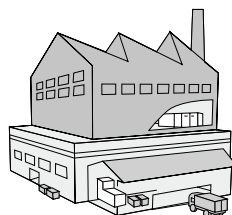
HOUSING
住宅・店舗

感性の時代にマッチした
生活シーンの実現を支援



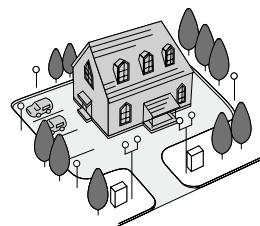
BUILDING
建物

インテリジェント化が進む
都市機能の円滑化



FACTORY
工場

生産の場に求められる
合理化対策に対応



PUBLIC
公共施設

快適な社会生活を形成する
都市づくりへの貢献

因幡電機産業株式会社

〒550-0012 大阪市西区立売堀4-11-14 tel (06)4391-1781 fax (06)4391-1806
URL <http://www.inaba.co.jp/>

DAIKIN **ダイキンエアコン**

空気で、あなたを守る。

世界初*の4方気流と
給水不要のうるる加湿。

*2009年10月6日現在、家庭用健康型ルームエアコンにおいて。



アイデア

新機能「4方気流」で新感覚の快適さ

冬の快適と健康は「加湿」がカギ



4方気流

× E-moist



2009年10月6日現在、
家庭用健康型ルームエアコンにおいて

ダイキンエアコンの最大の特徴は、加湿機能がもたらすからだのうるおい。しかも4方向からつつみ込む気流だから、うるおいを逃しません。

NEW
うるるとさらさら
あなたにやさしい湿度コントロール
RXシリーズ

ダイキン工業株式会社 空調営業本部

ダイキンエレクトロニクス株式会社
お客様センター

全国共通
フリーダイヤル

0120-88-1081

ダイキンエアコンホームページ

<http://www.daikin.co.jp/aircon/>

東芝電材マーケティング株式会社

西日本電材社 兵庫支店

東芝電材マーケティングは、総合電設資材に軸足を置いた事業展開で、お客様が期待する以上の満足と信頼をご提供いたします。

尼崎営業所 〒661-0002 尼崎市塚口町5-8-1
TEL 06-6423-3663 FAX06-6423-3443

神戸東営業所 〒657-0852 神戸市灘区大石南町1-4-24
TEL 078-805-1050 FAX078-805-1052

神戸西営業所 〒653-0053 神戸市長田区本庄町7-2-9
TEL 078-739-1201 FAX078-739-1205

淡路営業所 〒656-0014 洲本市桑間字椿鼻336-1
TEL 0799-24-2574 FAX0799-23-0704

姫路営業所 〒675-0055 姫路市南今宿1-16
TEL 0792-98-4377 FAX0792-98-4379

加古川営業所 〒675-0055 加古川市東神吉町西井ノ口618-1
TEL 079-434-4000 FAX079-434-4010

地球の環境を考えたLED電球

eco スタイル

E-CORE
「イーコア」
LED電球

白熱電球と
取り替えるだけで、
手軽にCO₂削減



NEW
新発売

一般電球形4.3W
(一般電球40W相当)^{*}
口金 E26
定格寿命 40000時間
LEL-AW4L (電球色相当)
LEL-AW4N (白色相当)

外径60mm
全長109mm

*当社白熱電球ホワイトランプLW100V36Wとの比較。当社ダウンライト器具ID-76220(S)に装着した場合、同等の配光を得られます。ランプ本体での全光束・配光は電球とは異なります。



電球形LEDランプ「E-CORE (LED電球)」
LEL-SLSN-F/2, LEL-SLSL-F/2
LEL-BRNN-F, LEL-BR9L-F

ビームランプ形
75・100Wクラス
口金 E26
定格消費電力 9.0W
定格寿命 20000時間
LEL-BR9L-F (電球色相当)
LEL-BRNN-F (白色相当)

ミゼットレフ形
60Wクラス
口金 E26
定格消費電力 5.3W
定格寿命 20000時間
LEL-SLSL-F/2 (電球色相当)
LEL-SLSN-F/2 (白色相当)

東芝ライテック株式会社
<http://www.tlt.co.jp/>

西日本業務部
〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-5 TEL:(06)6244-2861

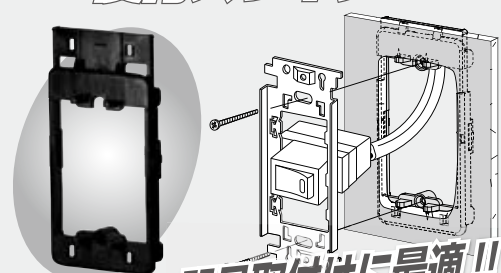


めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減
東芝グループは、チーム・マイクアップに参画しています。

新商品情報

後付工法の決定版! 後付枠と後付ボックス登場!!

後付スライダ

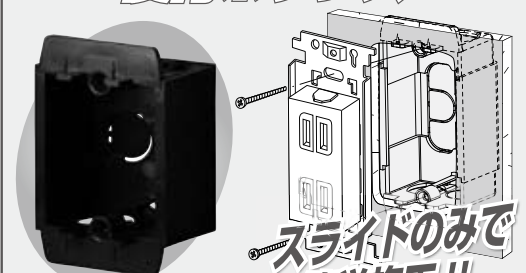


AS1

- 上下の針で石膏ボードにしっかり固定
- 壁内空間 25mm で施工可能

器具取付けに最適!!

後付ボックス



AX1

- 上下の針で石膏ボードにしっかり固定
- コンパクトで持ち運びが簡単
- 壁内空間 40mm で施工可能

スライドのみで
簡単施工!!

*針部は尖っており危険です。取扱いにはお気をつけください。



日動電工株式会社
www.nd-ele.co.jp

本社営業部 〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目3番21号
TEL:06-6358-2201 (代) FAX:06-6351-5757



日本電設資材株式会社

<http://www.n-ds.co.jp>

兵庫グループ

神戸支店	〒657-0852 神戸市灘区大石南町3-8-15	TEL078-882-8701 (代)
姫路支店	〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町2-1-9	TEL079-224-8321 (代)
兵庫営業所	〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2-1-35	TEL078-682-3831 (代)
神戸西営業所	〒651-2137 神戸市西区玉津町出合3-1-3	TEL078-927-8661 (代)
加古川営業所	〒675-0039 加古川市加古川町粟津字富家4-8-2-1	TEL079-426-9500 (代)

MASPRO

デジタルレベルチェッカー

—— 地デジ改修の必需品! ——

3つのボタンで簡単操作の
ハンディータイプ

業界初!

ハンディータイプで
BER, MERの
測定が可能

地上デジタルレベルチェッカー

LCT2

測定チャンネル| ch.13~62

7230
だけ

地上デジタル受信確認マーク表示機能

機能充実, 高性能タイプ



双方向・CATV・VU・BS・CS
デジタルレベルチェッカー

LCN3A

10~2600MHz対応

CATV・VU・BS・CS
デジタルレベルチェッカー

LCN3

70~2600MHz対応

7230
だけ

地上デジタル受信確認マーク表示機能

7230
だけ

衛星受信確認マーク表示機能

地デジをすべての人に届けたい

www.maspro.co.jp = 7230 電工 =



Creating for the Future

さらに安心・安全な暮らしの中に。

本 社 事 務 所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18(東京虎ノ門ビル)

産業電線営業統括部 ☎(03)3597-7081

関西支店 中部支店 北海道支店 東北支店 中国支店 九州支店

昭和電線ケーブルシステム株式会社

www.swcc.co.jp/

玄関先を
ほぼ真横まで
見渡せる

従来比約2倍
左右画角
約170°

ROCOワイドポータブル

アイホン株式会社 アイホン

検索

神戸営業所 〒652-0802 神戸市兵庫区水木通4-1-25 Tel:078-577-4891



カメラ付玄関子機

モニター付親機

ワイヤレス増設親機

株式会社

SDS

〒672-8071 姫路市飾磨区構4丁目216

TEL(079)235-7555 FAX(079)234-3675

E-mail:r.noda225@sds.swcc.co.jp

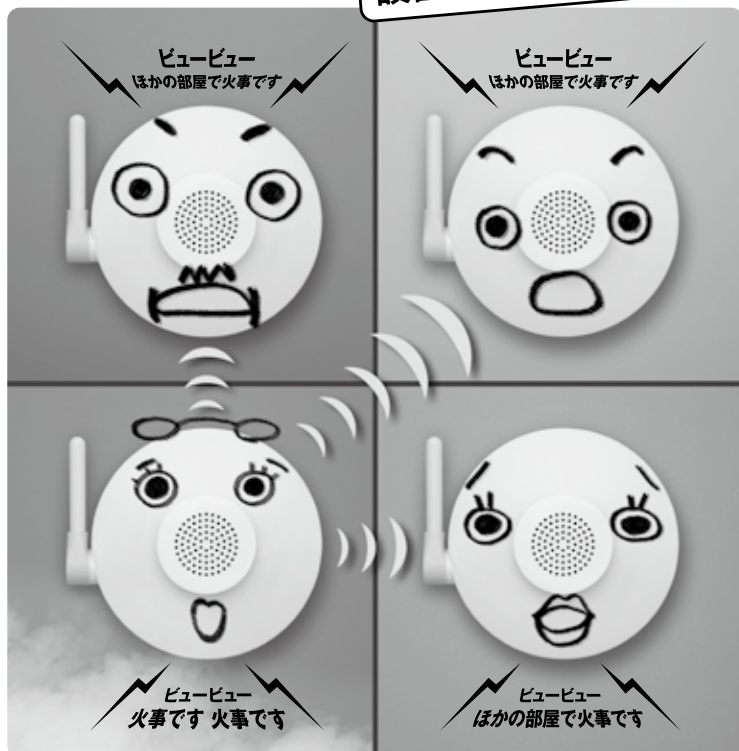
URL:http://www.swcc.co.jp/sdt/

本 社 〒105-0014 東京都港区芝2-29 14

一星芝公園ビルディング6F

TEL(03)5440-4701 FAX(03)3452-5258

**住宅用火災警報器
設置はお済みですか？**



**ワイヤレスで連動して
家中にすばやくお知らせ。**

パナソニックの住宅用火災警報器

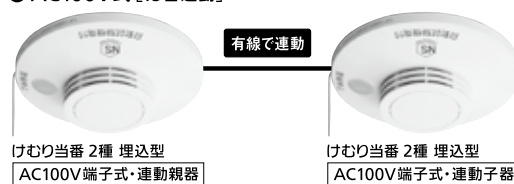


1ヵ所で検知すると、家中にすばやくお知らせする連動型

○電池式〔8台または15台連動※1〕



○AC100V式〔15台連動〕



※1 使用する親器により連動可能台数が異なります。

※2 障害物がない場所での水平見通し距離。

商品についての詳しい情報は denko.panasonic.biz/Ebox/jukeiki

検索

平成18年6月より住宅への設置が義務化されました。

パナソニック電気株式会社 神戸営業所

〒650-0031 神戸市中央区東町126番地 住友生命神戸シルクセンタービル4F TEL.078-333-1006

**ただでんはECOの取組みで
ソリューションカンパニーを目指します！！**



●電設資材 ●住宅設備機器 ●オール電化 ●太陽光発電システム ●空調機器 ●映像・音響・情報 ●産業機器 ●セキュリティ

人のために。人からはじまる。



※ただでんは絶滅に瀕しているシマフクロを
ECOの推進キャラクターとして環境に
取組んで参ります。

営業本部 〒535-0011 大阪市旭区今市1-14-9
PHONE: 06-6954-1525(代)
瀬(営) 〒657-0036 神戸市灘区桜口町1-1-4 セントラルプラザ六甲1階
PHONE: 078-854-7071(代)

<http://www.takeden.co.jp>

これが労災上乗せの集大成！！ A I Uの労働災害保障プラン

ハイパー任意労災（業務災害総合保険）

もし、労災事故が発生すると！企業経営者が「安全配慮義務」を問われます！！

「でも労災保険があるから」と安心していませんか？

それだけでは補償が足りない場合があります！！

現在ご加入のものと比較してください！！

●この保険の詳細は、弊社または取扱代理店にお問い合わせください。

例えば

☐ 安全な作業場を確保していた ☐ 管理、命令、指示は適切であった
☐ 適切な日程、工程で作業していた ☐ 想定できる危険に対して完璧な予防を行っていた

すべてYESなら

労働基準法上の災害補償義務を果たせます。

ひとつでもNOがあると...

民事上の責任発生!! 訴訟問題に発展する場合があります!!



取扱代理店 株式会社ベストインシュアランス 〒650-0033 神戸市中央区江戸町94番地2 ファーストプレスイオンビル5階 TEL 078-332-7171 FAX 078-332-6887 A70-408
引受保険会社 AIU保険会社 神戸支店(エイアイユーインシュアランスカンパニー) 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3 神戸ハーバーランドセンタービル16階 TEL 078-360-2401 FAX 078-360-9105

SOTOYAMA ELECTRIC CO.,LTD.
高度情報時代に貢献する

メタルモールは、駅、病院、工場、など乾燥した場所における
比較的、短小な増設工事、改修工事に於いて便利で美観に
すぐれています。

メタルモール

安全を技術で守る
外山電気株式会社

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32
TEL.03-3294-2331 FAX.03-3295-6370

編集後記

昨年を振り返ってみますと、経済面では100年に一度とも言われる世界的な経済危機に直面し、政治面では秋に政権交代が行われ、県内では台風9号による大きな被害に見まわれました。個人レベルでは、新型インフルエンザの脅威に右往左往した一年でもあったように思います。取り巻く環境はこれまで以上に厳しい状況に置かれ、或いは大きな変化に直面しています。しかしながら、私達はこれまで、幾多の試練に遭遇しながらも、何とか切り抜けてきました。今回も英知を絞り、力を合わせて何としてもこの難局を乗り切っていきたいものです。

さて、当協会の会報発行は今回で29号を数え、No.30の節目にリーチがかかりました。毎年、少しでも見やすく、また、内容を充実していこうと編集委員一同頭を絞ってまいりました。事業報告のウエートを落としながら、関係する行政・団体・企業からの情報発信に重点を移していくとの基本方針に基づき、今回は新たに特集ページを設けることにいたしました。

編集委員会の最大の議論はテーマ選びでしたが、表紙の写真とリンク付け、今注目されている地球温

暖化防止対策の切り札としての新エネルギーに焦点を当てることにしました。協会の事業展開において、太陽光発電システムの設備についての講習会の開催やエコアクション21認証取得に向けた勉強会を行うほかなど環境問題への取り組みを強めていることもテーマ決定の大きな要因となりました。

新エネルギーの意義や県の政策など基本的な部分については、兵庫県大気課にお願いして解説をいただきました。そして、具体的な取り組み事例は、編集委員が分担して県内の4つの団体や企業にお伺いし、現場や模型の見学や事業の説明をいただき、これらを参考にまとめてみました。

当初の意気込みとは異なり、消化不良になってしまっている傾向は否めませんが、今後もこのコーナーを継続・充実していきたいと考えています。また、本誌に対するご意見、ご批判や新コーナーについてのご提言がありましたら、事務局までお届けください。

結びに、ご寄稿・ご協賛いただきました皆様に深甚のお礼を申し上げますとともに、関係各位のご発展、ご多幸を祈念申し上げます。 < T. U >

社団法人兵庫県電業協会 役員名簿

H21. 12. 1現在

役 職 名	氏 名	会 員 名
会 長	藤 井 宏 明	藤 井 電 機 (株)
副 会 長	平 井 伸 幸	ミ ナ ト 電 気 工 事 (株)
“	西 村 善 明	尼 崎 電 機 (株)
専 務 理 事	植 原 利 幸	事 務 局
常 任 理 事	大 川 康 太 郎	ダ イ ト ウ 電 気 工 事 (株)
“	金 川 次 男	金 川 電 業 (株)
“	小 山 恵 生	西 部 電 工 (株)
“	寺 坂 睦 博	寺 坂 電 機 (株)
“	山 口 節 夫	山 口 電 気 工 事 (株)
“	山 崎 英 彦	日本電設工業(株)大阪支店神戸営業所
理 事	足 立 和 隆	中 佐 治 電 工 (株)
“	池 田 重 男	サ ン 電 設 工 業 (株)
“	河 野 賢 三	(株) カ デ ッ ク ス
“	合 田 吉 伸	東 洋 電 気 工 事 (株)
“	庄 野 春 夫	庄 野 電 気 工 事 (株)
“	田 中 良 彦	白 菱 電 気 設 備 (株)
“	前 田 潮	西部電気建設(株)姫路支店
“	向 山 和 義	(株) 国 益 電 業 社
監 事	丸 尾 富 保	星 屋 電 工 (株)
“	宮 崎 和 郎	大 宮 電 気 工 業 (株)
“	石 川 規	会 員 外

編 集 委 員

総務委員長 大川 康 太 郎
副委員長 池 田 重 男
委 員 山 崎 英 彦
委 員 篠 原 潔
事 務 局 植 原 利 幸

平成22年1月1日

第 29 号

社団法人 兵 庫 県 電 業 協 会

神戸市中央区琴緒町5-5-13

協和ビル4階

電 話 (078) 222-0365

F A X (078) 222-0389

URL : <http://www.hyogodengyo.jp>

E-mail: office@hyogodengyo.jp

発行責任者

大 川 康 太 郎

